



【旧吉沢公民館】

## 6 社会教育



【吉沢公民館 令和3年6月新築】

# (1) 公民館等

## ①社会教育委員会議

社会教育法第 15 条及び平塚市社会教育委員に関する条例に基づき設置されている社会教育委員は、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に応じ意見を述べること、及びそれらを行うため必要な研究調査を行うこと等を職務としています。

※歴代委員については、147 頁に掲載しています。

報告・提言等の項目

平成 24 年 3 月	～地域が連携し、市民の学びをいかした生涯学習社会の実現に向けて～(提言) ・地域の中での規範意識の低下に関する問題について ・公民館の現状と課題（公民館主事へのアンケート調査結果から） ・公民館の諸事業に食育活動を取り入れるための提案
平成 26 年 3 月	・社会教育における子ども達の生きる力を育む方策について（提言）
平成 28 年 3 月	・社会教育における子ども達の生きる力を育む方策について（報告） ～子どもの居場所づくりを考える～
平成 30 年 3 月	・新しい学社連携に向けて ～「平塚スタイル」で地域教育力のつながりを考える～（報告）
令和 2 年 3 月	・世代を超えて、地域・学校の協働による ひらつかスタイル（報告）
令和 4 年 3 月	・コロナ禍における社会教育のあり方（報告）

## ②公民館運営委員会

各公民館の運営については、公民館ごとに公民館運営委員会を設置し、教育委員会の求めに応じてその運営を協議し、公民館運営及び事業の効果的推進を図っています。委員の定数は、各公民館 13 人で、学校代表、自治会代表、社会教育関係団体代表、学識経験者等により構成されており、任期は 2 年で教育委員会が委嘱しています。

※公民館運営委員制度は、平塚市立公民館の設置及び管理等に関する条例施行規則により設置している、平塚市独自の制度です。

### ③平塚市中央公民館



#### ■ 概要

所在地	平塚市追分1-20
電話	0463-34-2111
F A X	0463-35-2537

建築年月	昭和57年(1982年)5月
敷地面積	2,992.45 m <sup>2</sup>
建物面積	6,722.15 m <sup>2</sup>

中央公民館は、市民の多様化する学習意欲と時代の要請から、「創造性を高め、文化をはぐくむ、心豊かなまちづくり」の実現のため、社会教育の中心的施設として、昭和57年(1982年)に、市制50周年記念事業の一環として建設しました。

本公民館は、心豊かな充実した生活を実現するため、全市的な視野に立ち、高度な学習や技術習得の機会を提供するとともに、社会教育関係団体の活動拠点として、また、団体の育成や指導者の育成も目的としています。

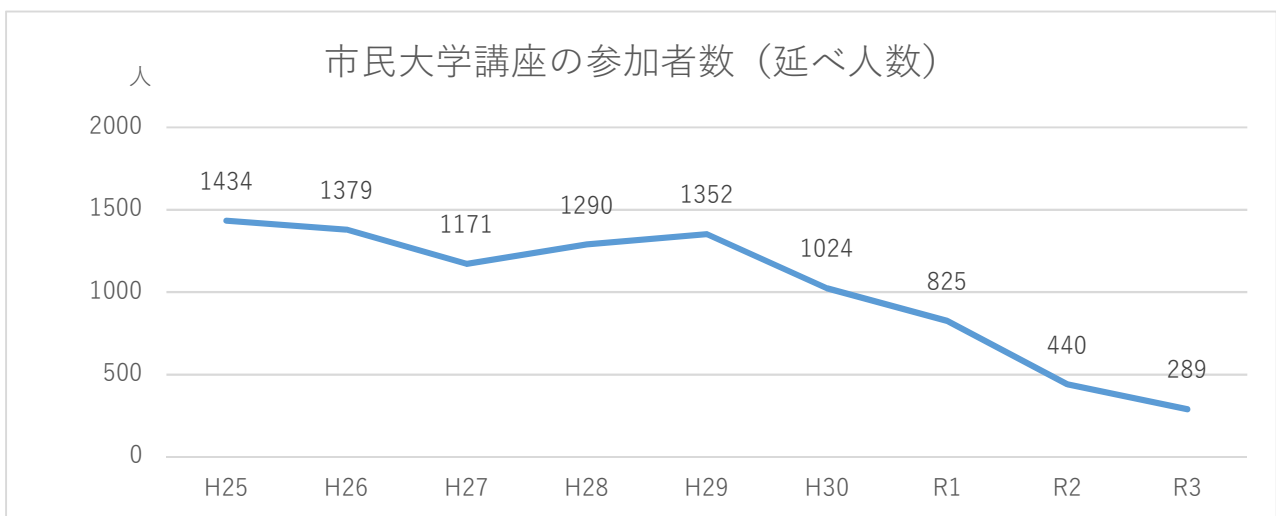
本公民館は、701席を有する大ホールと延長160mのパネルを有する市民ギャラリー、会議室等に分かれています。

毎年、大ホールや市民ギャラリーを使用して、平塚市文化祭、市展、公民館フェスティバルを開催しています。

# 中央公民館事業

## 1 市民大学講座

物資文化が発達し、特に質・量ともに変革が激しい時代と言われる今日、心豊かな生活・うるおいのある生活の充実をめざして、生涯学習の一環として、主に座学を中心とした専門的、継続的な講座を開設しています。開館当初の昭和 57 年度から平成 3 年度までは、概ね年間 8～9 講座を 3 期（春期・秋期・冬期）に分けて行っていましたが、平成 4 年度から 2 期（前期・後期）に変更し、年間 6 講座の開催としました。新型コロナウイルスの影響で令和 2 年度からは年間 5 講座の開催としています。学習は、講義や話し合い、研究討議、視聴覚機器を利用するなど効果的な方法を取り入れています。また、自主的で主体的な学習となるよう受講者自らが役割を分担し、運営しています。



### 【令和 3 年度の例】

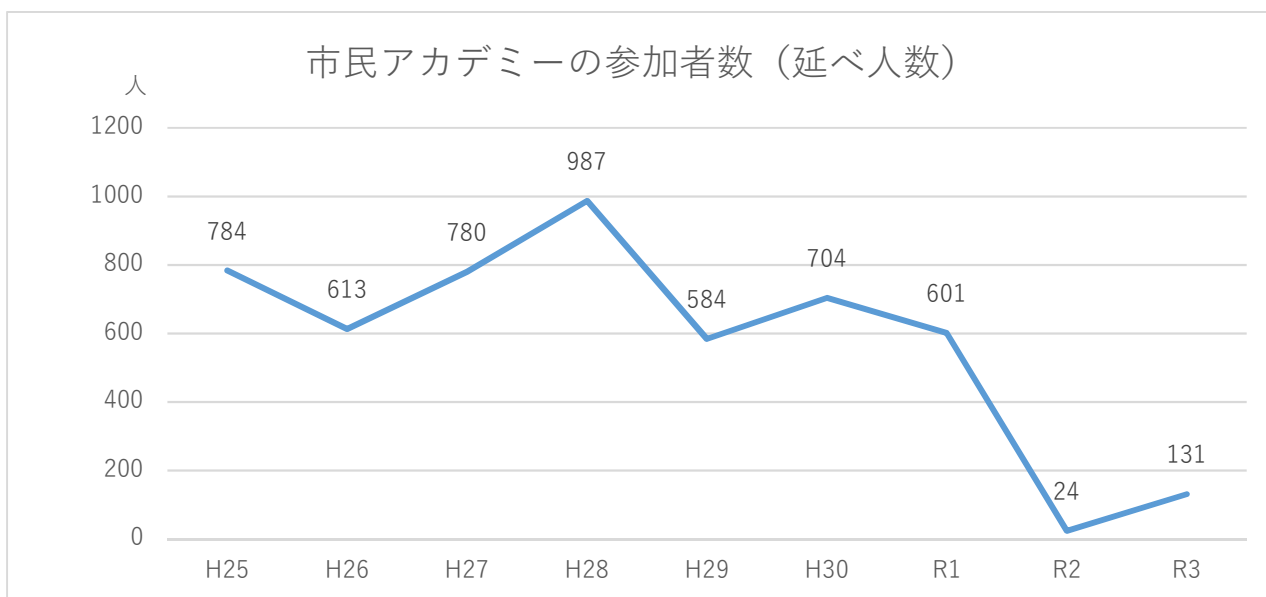
講座タイトル	回数	日程	内容
平塚市民病院の現場から	全 3 回	6 月 14 日～ 18 日	医療現場の生の声を聴き、新型コロナウイルス感染予防、健康・栄養管理、熱中症の対策について学ぶ。自身の身を守る行動を意識してもらう。
日本文学講座 芥川賞受賞作品を読む	全 4 回	12 月 21 日～ 3 月 8 日	現代日本文学を鑑賞し、人、社会、歴史など様々な切り口から作品を掘り下げる。今後の読書生活の役に立つ、ヒントや助言を提供し、受講生の自発的な探求心、向学心を刺激する。
古典籍が教えてくれる日本の文化	全 4 回	2 月 17 日～ 3 月 31 日	「くずし字」で書かれた古典籍や原文の世界に触れ、先人たちから現代の私たちへと受け継がれた古典文学を、作品としてだけでなく、保存資料としての扱い方などを含め様々な角度から学ぶ。日本独自の文字や文化の歴史を振り返り、現代において失われている部分を再発見する。

## 2 市民アカデミー

技術革新の進展がめざましい社会の中で、物だけでなく心の豊かさを求められる今日、芸術及び文化に関する知識、技能を修得することによって、市民の豊かな生活の充実を目指して、主に体験を中心とした講座を開設しています。

開館当初の昭和 57 年度から平成 3 年度までは、概ね年間 8～9 講座を 3 期（春期・秋期・冬期）に分けて行っていましたが、平成 4 年度から 2 期（前期・後期）に変更し、年間 6 講座の開催となりました。新型コロナウイルスの影響で令和 2 年度からは年間 5 講座の開催としています。

学習は、仲間づくり・社会参加を促す内容を取り入れています。また、自主的で主体的な学習になるよう受講者自らが役割を分担し、運営しています。



### 【令和 3 年度の例】

講座タイトル	回数	日程	内容
リトアニアを知ろう	全 4 回	6 月 16 日～ 30 日	東京オリンピック・パラリンピックを機に平塚市と交流を深めているリトアニアについて、国際交流員のラサさんから講義を受けて学ぶ。文化、伝統、食べ物、行事、言葉、工芸などに触れ、理解を深める。
ファミリー講座	全 3 回	7 月 17 日～ 31 日	家族全員で参加し、コミュニケーションが豊かになるゲームや、みんなに役立つ片付け術、絵の具だらけになって遊ぶアートセラピーなど、在宅時間をより楽しく過ごすヒントを学ぶ。
ニュースポーツのチカラ	全 3 回	11 月 16 日～ 12 月 7 日	いつでも、どこでも、誰とでも楽しむことのできるニュースポーツを体験し、その魅力や楽しさを学ぶ。またスポーツを行う中で生まれるコミュニケーションを通し、仲間とつながる。



### 3 ひらつか地域づくり市民大学

地域の様々な団体や個人をつなぎ、地域課題などに住民自らが取り組み、住みよい地域づくりを進めていくための人材の育成や地域活動に携わる人材の裾野を広げ、協働社会の基礎をつくるために開設しています。平塚市（協働推進課・中央公民館・福祉総務課）と、NPO 法人湘南サポートセンターの共催で実施しており、平成 25 年度に第 1 回を開催しました。

### 4 発表会及び展示会（ちゅうおう FESTA）

各種講座から発足したグループや、中央公民館利用団体による 1 年間の学習成果発表の場として、中央公民館を会場に「ちゅうおう FESTA」を毎年実施しています。展示・芸能・体験教室・模擬店の 4 部会を、参加団体により組織された実行委員会が運営しています。

#### 【令和元年度の例】

日 程：令和 2 年 1 月 25 日～26 日

来場者：延べ 2,188 人

部門	内容
展示 参加 11 団体	絵手紙、書道、写真、活動紹介・作品展示、絵画、水彩画、折り紙、生け花、中央公民館事業紹介
芸能 参加 16 団体	英語講座（中央公民館市民アカデミー）受講生発表、舞踊、ジャズ体操、奇術、ポールストレッチ、合唱、朗読、フラダンス、詩吟、楽器演奏
体験教室 参加 13 団体	折り紙、一輪花、うごくぬりえ、なまえシール、クラフト体験、バルーンアート、射的、わなげ、風船ビンゴダーツ、ギター体験、演奏会、琴、謡曲、ドイツのカードゲーム、ボードゲーム、かざぐるま、つかめる水、マッサージ、囲碁体験教室
模擬店 参加 8 団体	ちくわ天うどん、ちくわ天そば、煮たまご、ジンジャティー、リメイク品、福島物産、チョコ募金、あげぱん、コロッケ、おでん、漬物、手作り品、和菓子、茶まん、どら焼き、中華まん、茶葉、手作り小物、助六弁当、手作り弁当、炊き込み御飯、みかん、聖護院大根、里芋、わけぎ、自然薯、昆布、生わかめ、茎わかめ、ウインナー、牛乳、みかんジュース試食試飲、切り花各種、ホットコーヒー

※令和 2 年度は中止。令和 3 年度は展示のみ開催



## ④地区公民館

### 地区公民館共通事業

#### 家庭教育学級 25 学級

核家族化や地域のつながりの希薄化等を要因とした家庭の教育力の低下が指摘され、教育基本法において家庭教育の重要性が謳われていることから、乳幼児や小・中学生の親が相互の交流を図り、家庭教育の大切さを理解されるよう、子どもや親を取り巻く諸問題等に関する講座を開催します。

また、家庭教育の重要性を踏まえ、全公民館の事業として、平塚市 PTA 連絡協議会と共催で、家庭教育講演会を開催します。

#### 崇善公民館（令和 3 年度）の例

日程	講座名	内容
7月21日(水)	夏休み！カブトムシと遊ぼう！	実際にカブトムシに触れながら昆虫の生態を学ぶ
8月3日(火)	手作り望遠鏡で夏の星空観察	夏の星空を学ぶ 親子で手作り望遠鏡を作成して絆を深める
11月30日(火)	赤ちゃん to 手形 de アート	赤ちゃんの手形や足形で自由な発想でアート作品を制作する
3月26日(土)	父親を 20 倍楽しむ ～いい父親でなく、笑っている	親子で絵本の読み聞かせや、バルーンアートを通して父親を楽しむコツを学ぶ
3月27日(日)	父親になろう～	火おこし体験等のあそびとごはんづくり

受講生延べ 111 人

#### 家庭教育講演会（平成 28 年度から平塚市 PTA 連絡協議会と共催）

開催年度	講師		テーマ	参加者数
平成 28 年度	渡辺 元智	横浜高等学校 硬式野球部前監督	高校野球界の名将が語る ～子どもたちへの愛情が心を育て人を動かす～	506 人
平成 29 年度	小林 さやか	ビリギャル	「ゼツタイ無理」に挑んだビリギャルが語る～あきらめない心を持たせる人とのかかわり～	556 人
平成 30 年度	内村 周子	金メダリスト 内村航平氏の母	内村流子育て「好き」を伸ばすほめて伸ばす	489 人
令和元年度	夏 まゆみ	ダンスプロデューサー	子どもの能力を輝かせるには	351 人
令和 2 年度	渡辺 元美	横浜高等学校野球部 合宿所元寮母	名門野球部を支えた 渡辺流 食のキャッチボール	1,456 人
令和 3 年度	辻井 いつ子	国際的ピアニスト 辻井伸行氏の母	子どもの才能のを見つけ方、伸ばし方 ～明るく、楽しく、あきらめない～	283 人

令和 2 年度は動画開催（参加者数は動画視聴回数）

## シニア学級 25 学級

シニア世代の方を対象に、新しい時代に即応した生き方やシニアの役割等の学習を始め、趣味、創作、社会活動に関する講座の開催を通して、積極的な姿勢で社会変動に対処する能力を養っていきます。

また、パソコンやスマートフォンが暮らしのオプションではなく、時に命綱になり得る時代において、これまでデジタル機器に触れる機会の少なかったシニア世代に利用者との格差（デジタルディバイド）の解消が図れるよう、ICT等を学び、デジタル機器の使い方を身に付ける場を設けていきます。

### 豊田公民館（令和3年度）の例

日程	講座名	内容
6月8日（火）	あおぞらコグニサイズ	屋外でのラダーを用いたコグニサイズ体験、フレイル測定
6月15日（火）	キャッシュレス決済入門講座	キャッシュレス決済について、仕組みや安全に使うためのコツを学ぶ
6月29日（火）	豊田歴史ばなし	地域の歴史研究家に、豊田地区にまつわる様々な時代の話をおきく
11月2日（火）	美しいペン字入門	添削を交えながら、ひらがな、カタカナ等について学ぶ
11月16日（火）	折り紙教室	折り紙の実習
12月24日（金）	スマートフォン体験セミナー	スマートフォンの基本的な使い方等を学び、体験する

受講生延べ 91 人

## 児童・生徒地域参加事業 25 事業

異なる年齢の児童・生徒が集団における役割分担や協働意識を学び、文化への趣味、関心を深められるよう、集団活動、自然の中の遊びと鍛錬、文化、地域住民との交流に関する講座を開催します。

### 南原公民館（令和3年度）の例

日程	講座名	内容
7月1日（木）	七夕飾りづくり・掲出	地域から七夕の飾りや短冊を募集し公民館で7月1日～7月8日の期間展示する
7月30日（金）	夏休み子ども教室① 工作教室	創意工夫をしてピンボールを作る
7月31日（土）	夏休み子ども教室② オリジナル夏うちわをつくろう！	ステンシルの技法を用いて各自がオリジナルの夏うちわを作る
8月2日（月）	夏休み子ども教室③ 陶芸教室	陶芸家からの指導で手びねりで各自が作りたい陶芸作品を作成する
8月10日（火）	夏休み子ども教室④ フラワーアレンジメント教室	地域の有資格者からの指導でフラワーアレンジメントを学ぶ

受講生延べ 133 人



## 公民館まつり

日頃の公民館学習活動の成果や地域の市民活動の内容を発表することを通して、地域コミュニティ文化の醸成を図ることを目的に開設しています。

開催時期については、公民館活動の1年間の成果の発表の場であることから、毎年2月から3月にかけて開催しています。内容は、作品展示、芸能発表、催し物、模擬店等、各館ともに地域の各種関係団体の協力を得て実施しています。

### 平成30年度実施状況

公民館名	開催月日	来場者数(人)
崇善	3月2日(土)～3日(日)	1,490
須賀	2月22日(金)～24日(日)	1,100
松原	2月23日(土)～24日(日)	1,800
富士見	3月2日(土)～3日(日)	1,900
花水	2月23日(土)～24日(日)	3,200
なでしこ	3月2日(土)～3日(日)	2,600
大野	2月23日(土)～24日(日)	1,500
八幡	2月23日(土) 3月2日(土)～3日(日)	1,510
四之宮	11月18日(日) 2月24日(日) 3月2日(土)～3日(日)	1,484
中原	3月9日(土)～10日(日)	2,000
松が丘	2月23日(土)～24日(日)	1,500
大原	3月2日(土)～3日(日)	1,600
南原	2月16日(土)～17日(日)	1,100
神田	3月2日(土)～3日(日)	2,500
横内	2月23日(土)～24日(日)	2,000
大神	3月9日(土)～10日(日)	1,400
岡崎	2月16日(土)～17日(日)	1,300
豊田	2月24日(日) 3月1日(金)～3日(日)	1,475
城島	3月2日(土)～3日(日)	1,450
金目	3月2日(土)～3日(日)	2,600
金田	3月2日(土)～3日(日)	2,500
土屋	2月23日(土)～24日(日)	1,800
吉沢	3月2日(土)～3日(日)	1,300
旭南	2月23日(土)～24日(日)	3,800
旭北	3月2日(土)～3日(日)	2,000

※新型コロナウイルスの影響により、  
令和元年度は16館で中止、1館で一部中止  
令和2年度は16館で中止  
令和3年度は5館で中止

## 市民体育レクリエーション地区大会

本大会は、体育レクリエーション活動を通して、地域住民相互の交流を深め、明るい地域づくりの推進を図るとともにスポーツ・レクリエーション活動の向上と健康の増進を図ることを目的とし、毎年、スポーツの日を中心に市内全域で開催しています。

### 平成 30 度実施状況

公民館名（地区名）	開催月日	会場	参加者数（人）
崇善	9月30日（日）	崇善小学校	800
須賀	10月7日（日）	港小学校	2,000
松原	9月30日（日）	ひらつかサン・ライフアリーナ	800
富士見	10月7日（日）	富士見小学校	941
花水	10月7日（日）	花水小学校	699
なでしこ	10月7日（日）	なでしこ小学校	850
大野（真土）	10月7日（日）	真土小学校	700
八幡	9月30日（日）	八幡小学校	300
四之宮	10月7日（日）	大野小学校	1,100
中原	10月14日（日）	中原小学校	550
松が丘	10月7日（日）	松が丘小学校	650
大原	10月7日（日）	大原小学校	390
南原	9月30日（日）	南原小学校	400
神田・大神 （神田・相模）	10月14日（日）	神田小学校	1,700
横内	10月7日（日）	横内小学校	300
岡崎	10月21日（日）	岡崎小学校	1,450
豊田	10月14日（日）	豊田小学校	600
城島	10月7日（日）	城島小学校	650
金目（金目）	10月21日（日）	金目小学校	650
金目（みずほ）	10月21日（日）	みずほ小学校	800
金田	10月7日（日）	金田小学校	650
土屋	10月7日（日）	土屋小学校	400
吉沢	10月14日（日）	吉沢小学校	600
旭南（勝原）	9月30日（日）	勝原小学校	500
旭南（山下）	9月30日（日）	山下小学校	450
旭北	10月7日（日）	旭小学校	1,450

※台風の影響により、

令和元年度は 11 会場で中止

※新型コロナウイルスの影響により、

令和 2 年度は全会場で中止

令和 3 年度は 25 会場で中止（横内地区のみウォークラリー形式で実施）

## 地区公民館自主事業・ブロック事業

地域の課題を解決するため、地域住民の自発的、自主的な学習意欲を支援する事業を展開します。

また、幅広い学習機会を創出するため、参加対象者の区域を広げたブロック協働による事業を実施します。

※ブロック…市内の公民館を東西南北のグループで分けた単位 1ブロック 6館又は7館

### 令和3年度の主な自主事業

公民館名	主な事業内容
崇善	公民館に天の川を作ろう、こども手作りお菓子教室、赤ちゃんおはなし会、こどもおはなし会
須賀	おはなし会、ホール開放(卓球)、おもちゃの病院、ヒロシマにふれてみませんか、認知症サポーター養成講座、正月おかざり教室、海と山の探検隊
松原	松原地区囲碁ボール大会、ゴキブリ団子作り、スマートフォン体験セミナー、正月飾り作り教室、社会を明るくする講演会
富士見	歴史講座(渋沢栄一の生涯、源頼朝とその時代)、写真教室
花水	図書室図書貸出事業、おはなし&映画会、ベランダ野菜づくり教室、七夕に願いを込めて、花水ブックフェスティバル&花水子育てサロン
なでしこ	なでしこBOOKバザー、オアシスなでしこ、花いっぱい公園・公民館を作ろう!、おはなし会、図書の貸し出し事業、子ども囲碁教室、舞い上がれ!鯉のぼり
大野	地域で作る!七夕短冊・飾り付け!、健康体操、みんなで作る本の木、ちいき情報局でインタビュー、私のサークル紹介します!
八幡	やわよみ、八幡地区各種団体連絡会議、七夕飾りを募集します!、書で飾る24節気、篆刻講座、リトアニアレシピ公開!、やわウィン仮装でフォト!、折り紙でクリスマスツリーを飾ろう、お正月飾り教室、盛りだくさん!リトアニアday!
四之宮	チョークアート体験教室、みんなの夏休み図書室、四之宮地区パークゴルフ大会、四之宮の歴史を学ぼう、正月飾り教室、みんなの冬休み図書室
中原	中原中学校美術部デザイン★アマビエぬりえに挑戦しよう!、中原公民館展示発表会、学んでいかそう!感染症対策講座、中原街道スポットウォーク、お飾り教室、おはなし会
松が丘	おはなしの会、七夕短冊作成、誰でもできる健康体操、囲碁ボールの集い、やさしい健康体操
大原	おはなし会(あそびと絵本の会ぱたぽん)、和みの苔玉づくり教室、大原公民館で環境について考えてみよう!大原ECOコーナー、子どもの安心・安全を考える会議、医療現場から学ぼう~私たちの感染症対策~、本の知名度ムクムク椋鳥+作戦、平塚中等教育学校吹奏楽部クリスマスコンサート
南原	ゴキブリ退治薬作り、ゴーヤの苗植え体験、南原展示発表会、夏休み寺子屋、親子ホタル観察会

公民館名	主な事業内容
神田	ホウ酸だんご作り教室、パークゴルフ教室、文学・歴史講座（歴史と文学の里 大磯をめぐる、東海道平塚宿とその周辺を訪ねる）、お飾り作り教室
横内	小品盆栽写真展、春の風景写真展、健康だより、春の寄せ植え教室、ハーバリウム教室、超楽しい脳トレ&簡単運動教室、健康を保つ簡単トレーニング、そば打ち体験教室、おもてなし料理教室、生花アレンジメントレッスン
大神	大神の史跡紹介、フレイル予防料理レシピ紹介、お家で咲かせようチューリップ、ウインドオーケストラふれあいコンサート
岡崎	認知症サポーター養成講座、チームオレンジ研修、岡崎公民館 夏の展覧会、岡崎地区の生きものとふれあう観察会、グラウンドゴルフ大会、お飾り教室
豊田	豊田地区アマビエぬりえ展覧会出店作品の募集・共同制作・展覧会、「エンディングノート」活用講座、豊田歴史ばなし、展覧会動画視聴、子育てサロン
城島	藍染め教室、地域散策「城島の景観と自然～新川の源流を訪ねて～」、秋の自然観察会、冬の星空観察会
金目	金目おはなしの会、おはなしの会と自然観察会、竹の子まつり、どんぐり工作、お飾りづくり教室、お正月の雰囲気たっぷりフラワーアレンジメント
金田	図書の貸出、おはなしひろば、おもちゃの病院ドクターくるりん、ふるさと納税特産品あれこれ
土屋	ぶらり土屋新緑のハイキング、土屋検定にチャレンジ、土屋にぎる菊を咲かせよう、みんなで土屋の七夕を盛り上げよう、夏休み子ども教室（わくわく生き物観察会、オリジナル手ぬぐいを作ろう、子ども卓球教室、親子昔あそび）、盆踊り練習会、土屋っ子ふれあい鑑賞会、走り方教室、土沢中一日大学生、色のマジック??チョークアートを楽しもう、竹灯籠教室、おかざり教室、春よ恋!!出会いときめき婚活パーティー、土屋っ子フェスティバル
吉沢	リズム体操を体験しよう、秋の歴史散策、クリスマスツリーをつくろう、吉沢みんなで歩こう会「もみじを見に行こう」、正月お飾り教室、フラワーアレンジメント教室
旭南	健康体操、平塚フィルハーモニー管弦楽団公開練習、電動ろくろを使った陶芸教室、おもちゃの病院、バルーンアート教室
旭北	おはなし会、七夕飾り短冊募集、旭北芸能フェスティバル、お飾り教室、デコレーションケーキづくりに挑戦



## ⑤公民館フェスティバル

公民館を利用し、練習活動しているグループの発表を通して、市民の文化・芸能活動の振興を図る目的で、昭和 57 年に中央公民館が開館したのを機に、第 1 回公民館フェスティバルを開催しました。以後、毎年、市内の全公民館で活動しているグループが一堂に会して発表する場として親しまれています。発表内容は、作品展示発表会、芸能発表会、お茶会となっています。

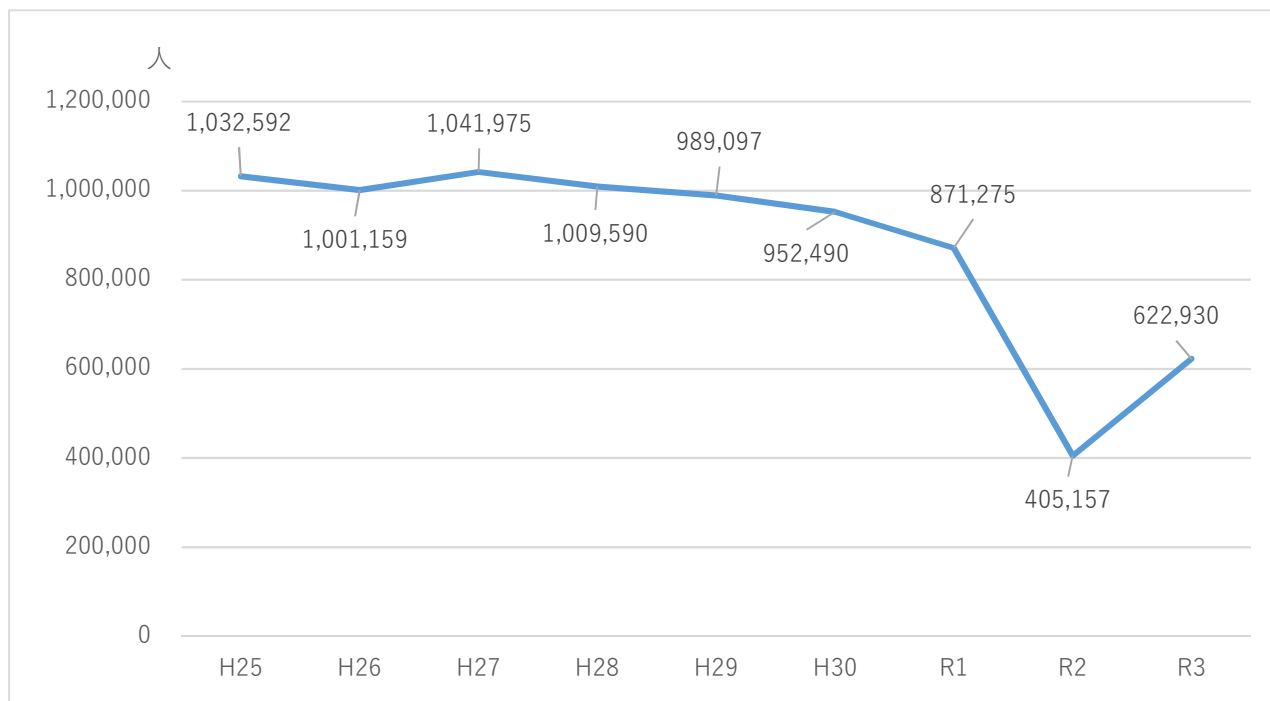
### 第 38 回公民館フェスティバル（令和元年度）

- 展示部門 11月8日（金）～11月10日（日） 参加団体 21 団体
- 芸能部門 11月9日（土）～11月10日（日） 参加団体 131 団体
- お茶会 11月9日（土） 参加団体 1 団体
- 開催期間中来場者数 約 3,500 人

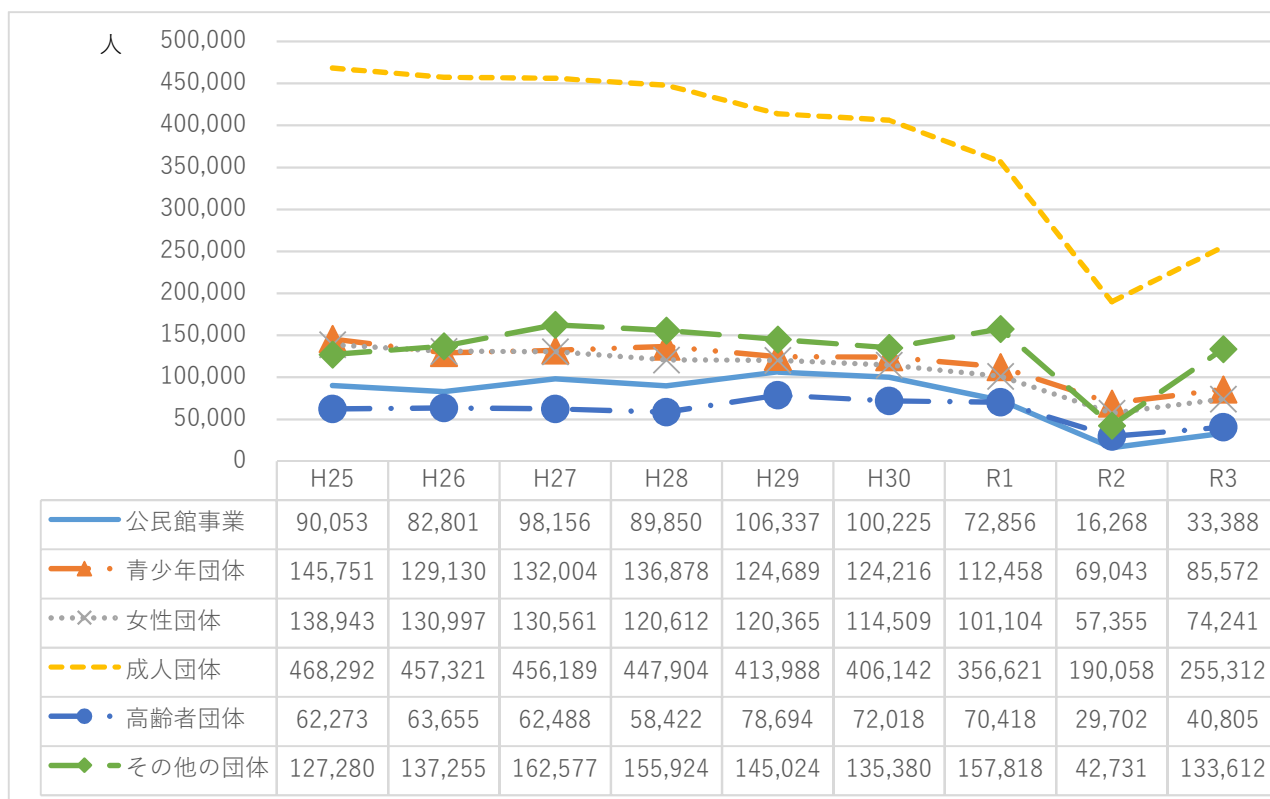
※令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響で中止。令和 3 年度は感染症対策をしながら縮小開催



## 公民館利用者数の推移



## 利用団体別の利用者数の推移



(利用者数は公民館要領を参照)



## (2) 芸能文化

この 10 年は人口の増加が減少に転じ、新たに持続可能なまちづくりが求められてきました。平成 28 年に策定された平塚市総合計画では「豊かな人間性と文化をはぐくみ、基本的人権を擁護するまち」を指針の一つに挙げています。これに基づき「豊かな心と文化をはぐくむまちづくり」を施策の柱として多くの市民が、優れた美術、芸術などに触れることができるよう機会を充実するとともに、魅力ある企画や各施設が連携した取組を進めています。また、知識、教養や心のゆとりをもたらす文化芸術活動について、幅広い市民が参加できるような環境づくりに努めています。

さて、令和 2 年に国内に広がった新型コロナウイルス感染症によって、社会生活における多くの活動が制限され、文化芸術活動も停滞を余儀なくされました。一方、感染リスクを回避できる方法として ICT が急速に広まり、活用されるようになりました。こうした中、改めて対面でのふれあい交流の大切さが認識されています。

### 平塚市文化祭

豊かな心と創造性を育む芸術文化の普及と高揚を図るため、市民の創作・発表活動の場として、教育委員会発足間もない昭和 28 年に、第 1 回文化祭が行われました。社会教育事業の重点項目の一つである「芸術教育と文化団体の育成」を具体化するものでした。

当初は農業会館、見附台公会堂を主会場にして開催されましたが、その後、展示は、見附台体育館に、催し物は主として市民センターを会場として行われ、近年は中央公民館を主会場に、作品展示は平塚市美術館で行われています。

令和 2 年度、3 年度は新型コロナウイルス感染症のまん延によって、一部の展示と無観客の公演を開催しました。約 2 年にわたる活動制限は団体の活動にも大きく影響しましたが、令和 4 年度は通常開催に向け動き出しています。

### 市民文芸から文化祭公募展へ

自らの生活の中から、創作する喜びを味わい、日々の生活を充実しようと努めている多くの市民が文芸の分野で活動を続けています。

昭和 36 年に発刊された「市民文芸」は平成 25 年の第 54 集をもって終了しました。これに替わり平成 26 年度から平塚市文化祭の文芸部門（俳句、短歌、川柳）として作品を公募し、入選作品集を刊行するとともに、展示やホームページで紹介しています。昭和 56 年から加わった現代詩部門は市内小学生と家族の掛け合いによる「子ども家族川柳」部門として形を変え、身の回りの事柄や家族への思いを言葉にして伝える体験の場として定着してきました。



第 67 回 平塚市文化祭「洋舞」公演



第 67 回 平塚市文化祭「絵画」展示

平塚市文化祭 文芸部門作品数

	H26 第 62 回	H27 第 63 回	H28 第 64 回	H29 第 65 回	H30 第 66 回	R 元 第 67 回	R 2 第 68 回	R 3 第 69 回
俳句	218	183	121	145	126	76	78	58
短歌	97	102	86	94	84	72	73	67
川柳	152	132	86	122	109	95	96	80
子ども家族川柳	293	341	243	257	288	333	272	326
計	760	758	536	618	607	576	519	531

**文芸 作品募集**

部門

- ◆ 俳句 ◆ 題「秋の俳詠」 1人2句まで
- ◆ 短歌 ◆ 題は自由 1人2首まで
- ◆ 川柳 ◆ 題「秋柳」 1人3句まで
- ◆ 子ども家族川柳 ◆ ※市内の小小学生に専用のチラシを配付予定

【募集】

※市内在住、在学、在学の方

【応募期】

- ・ ほか、Eメールでも応募して可なり。
- ・ 必ず、部門・作品・氏名(ふりがな)・電話番号を記入してください。
- ・ (応募の都合は、必ず応募用紙を記入し、又は作品の裏面に記入してください。)
- ・ ほか、Eメールでも応募可なり。部門ごとに別の用紙を使用してください。
- ・ メールで応募の場合は、必ずEメールの件名に「文芸」と明記してください。
- ・ 応募で応募してください。

【締め切り】7月30日(金)必着

【応募先・問い合わせ先】

〒254-8686 平塚市浅間9-1  
平塚市教育委員会 社会教育課 まで  
電話(直通) 0463(25)8431  
FAX 0463(34)5322  
Eメール shokai@city.hirakawa.kanagawa.jp

**子ども家族川柳 作品募集**

【募集】

市内の小・中学生とその家族

【応募期】

- ・ 応募用紙に記入してください。
- ・ ほか、Eメールでも応募可なり。部門ごとに別の用紙を使用してください。
- ・ メールで応募の場合は、必ずEメールの件名に「子ども家族川柳」と明記してください。
- ・ 応募で応募してください。

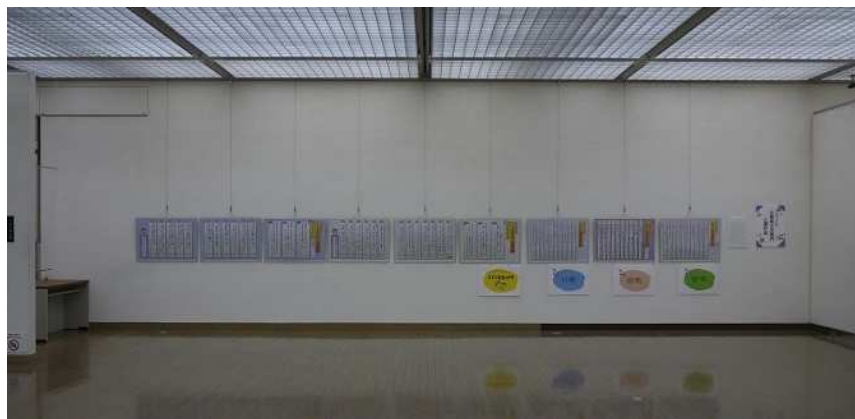
【締め切り】7月30日(金)社会教育課に必着

【応募先・問い合わせ先】

〒254-8686 平塚市浅間9-1  
平塚市教育委員会 社会教育課 まで  
電話(直通) 0463(25)8431  
FAX 0463(34)5322  
Eメール shokai@city.hirakawa.kanagawa.jp

第 69 回 平塚市文化祭 文芸部門募集要項

第 69 回 平塚市文化祭 子ども家族川柳募集要項



第 69 回 平塚市文化祭 文芸部門入選作展示 (平塚市美術館)

## ① 文化財保護

昭和 32 年 10 月に「平塚市文化財保護条例」が制定され、文化財保護委員会が設けられました。当初、文化財関係の事務は、平塚市教育研究所が行っていましたが、昭和 39 年から社会教育課の成人教育係、昭和 55 年 5 月に文化財保護係が設置されました。平成 10 年 4 月からは文化財保護担当に名称を変えて事務を行っており、現在に至ります。

※歴代委員については、148 頁に掲載しています。

平成 25 年度以降の文化財保護事業をみると、文化財の新規指定では、絵画 1 件、考古資料 5 件、工芸品 1 件を新たに市の重要文化財に指定しました。また、建造物 4 件が国登録有形文化財に加わりました。平成 30 年度には市の重要文化財に指定されている北金目神社本殿を解体修理し、将来にわたり適切な保存ができるよう努めました。

平成 16 年 7 月に国の登録有形文化財（建造物）に登録された旧横浜ゴム平塚製造所記念館は、指定管理者制度を採用し適切な保存管理に努めるとともに、市民が利用できる文化財として、様々な活用事業を実施しています。毎年、春と秋に開催される「音楽のおくりもの」は広く出演者を公募し開催しており、観客・出演者からの評価がともに高いイベントに育っています。

埋蔵文化財関係では、用途廃止となった平塚市東部福社会館を平成 29 年度に内部改修した上で、埋蔵文化財の収蔵施設として整備しました。これにより、平塚市埋蔵文化財調査事務所金目分室に収蔵されていた市内遺跡出土品を搬入・収蔵するとともに、金目分室を廃止しました。

埋蔵文化財の試掘及び発掘調査件数はこの 10 年で増加傾向にあり、令和 2 年初頭からのコロナ禍にもかかわらず、調査件数増の傾向に変化は見られませんでした。

埋蔵文化財愛護意識の普及を図る事業としては、平成 23 年度から「遺跡調査・研究発表会」を実施し、発掘調査成果の公開と活用を図っています。

## ② 民俗芸能

平塚市には、祭礼の際などに演奏される囃子太鼓、義太夫節に合わせて人形を操る人形浄瑠璃芝居、農作業や憩いの場で歌われた古民謡などの郷土に伝わる民俗芸能が数多く残されています。これらの民俗芸能を貴重な文化財として保存・伝承していくことは、文化財保護行政の大切な仕事の一つです。

市内には、神奈川県指定無形民俗文化財の「相模人形芝居前鳥座（昭和 57 年 2 月指定）」のほか、平塚市指定重要文化財（無形）として、「田村ばやし（昭和 51 年 11 月指定）」、「前鳥神社祭事（昭和 54 年 2 月指定）」、「前鳥囃子（昭和 61 年 1 月指定）」があります。毎年 11 月には、これらを中心に市内に伝承されている様々な民俗芸能を「ひらつか民俗芸能まつり」で公演し、市民の文化財愛護意識の促進と演技技術の継承に努めています。

このほか、存亡の危機に瀕していた乙女文楽を守るため市で購入した文楽人形の首（かしら）56 点と 30 組の衣装（平成 17 年 11 月平塚市指定重要文化財指定）を、「神奈川県立高浜高等学校文楽部」の卒業生を中心に結成された「湘南座」などへ貸し出し、その継承に努めています。

さらに活動を支援する補助金の交付や演技指導者の派遣などを行うことで、後継者の育成や民俗芸能の伝承に力を注いでいます。

### ③平塚市内の指定文化財・登録文化財一覧 (令和4年3月31日現在)

#### 1 国指定文化財 3件 (彫刻1 建造物1 史跡1)

種別	名称	員数	指定年月日	所有者・保持団体
有形：彫刻	木造 不動明王立像	1 軀	昭和 8.1.23	(宗) 八剱神社
〃：建造物	光明寺本堂内厨子 (付) 前立聖観世音菩薩像	1 基	昭和 45.6.17	(宗) 光明寺
史跡	五領ヶ台貝塚	—	昭和 47.7.29	平塚市

#### 2 神奈川県指定文化財 8件 (彫刻2 工芸品1 建造物2 有形民俗2 無形民俗1)

種別	名称	員数	指定年月日	所有者・保持団体
有形：彫刻	木造 大日如来坐像	1 軀	平成 3.2.8	(宗) 高林寺
〃：〃	木造 金剛力士立像	2 軀	平成 3.2.8	(宗) 光明寺
〃：工芸品	光明寺銅鐘	1 口	昭和 33.9.20	〃
〃：建造物	四脚門	1 棟	昭和 48.12.21	(宗) 妙覚寺
〃：〃	光明寺観音堂 (本堂)	1 棟	昭和 54.2.16	(宗) 光明寺
〃：民俗	正福寺の庚申塔	1 基	平成 18.2.14	(宗) 正福寺
〃：〃	長楽寺の庚申塔	1 基	平成 18.2.14	(宗) 長楽寺
無形：〃	相模人形芝居前鳥座	—	昭和 57.2.9	前鳥座

#### 3 平塚市指定文化財 46件

(絵画 15 彫刻 12 建造物 2 古文書 2 古記録 3 考古 7 民俗 1 工芸品 1 無形民俗 3)

種別	名称	員数	指定年月日	所有者・保持団体
有形：絵画	絹本着色 僧空海画像	1 幅	昭和 33.9.9	(宗) 芳盛寺
〃：〃	風外慧薫墨画・墨蹟	16 幅	平成 6.1.20	平塚市博物館
〃：〃	大山寺縁起絵巻	2 巻	平成 6.1.20	〃
〃：〃	中原御宮記	1 巻	平成 6.1.20	〃
〃：〃	絹本着色 観世音菩薩三十三身曼荼羅	1 幅	平成 9.10.1	〃
〃：〃	絹本着色 法然上人像	1 幅	平成 7.10.25	(宗) 善徳寺
〃：〃	絹本着色 観心十界曼荼羅図	1 幅	平成 7.10.25	(宗) 長善寺
〃：〃	絹本着色 親鸞聖人像・浄土七高僧像・ 聖徳太子像・蓮如上人像	4 幅	平成 7.10.25	(宗) 真福寺
〃：〃	紙本墨画淡彩 十六羅漢図	双幅	平成 8.10.1	(宗) 福田寺
〃：〃	紙本着色 十王図	双幅	平成 8.10.1	〃
〃：〃	紙本着色 涅槃図	1 幅	平成 11.10.1	(宗) 神田寺(旧観音寺)
〃：〃	紙本着色 十王図のうち五道転輪王	1 幅	平成 11.10.1	〃
〃：〃	紙本版摺着色 十二天像のうち十一天	11 幅	平成 15.10.22	(宗) 芳盛寺
〃：〃	紙本着色 如意輪観音像	1 幅	平成 15.10.22	(宗) 長善寺
〃：絵画	東川斎桂山筆 不動明王二童子像	1 幅	平成 28.2.3	個人(平塚市博物館寄託)



種別	名称	員数	指定年月日	所有者・保持団体
有形：彫刻	木造 聖観世音菩薩立像	1 軀	昭和 35.3.31	(宗) 光明寺
”：”	木造 薬師如来立像	1 軀	昭和 45.6.13	(宗) 宝積院
”：”	木造 薬師如来立像	1 軀	平成 4.3.5	(宗) 正福寺
”：”	木造 十二神将立像	12 軀	平成 4.3.5	”
”：”	木造 阿弥陀如来立像	1 軀	平成 4.3.5	(宗) 善福寺
”：”	木造 地藏菩薩坐像	1 軀	平成 4.3.5	(宗) 善徳寺
”：”	木造 薬師如来坐像	1 軀	平成 4.3.5	(宗) 平等寺
”：”	木造 阿弥陀如来及び観音・勢至両菩薩立像	3 軀	平成 4.3.5	(宗) 薬王寺
”：”	木造 地藏菩薩半跏像	1 軀	平成 5.3.3	(宗) 延命寺
”：”	木造 観音三十三応現身立像	33 軀	平成 12.9.30	(宗) 光明寺
”：”	木造 白衣観音菩薩坐像(聖観音菩薩坐像)	1 軀	平成 22.12.10	(宗) 明王院
”：”	木造 閻魔王坐像	1 軀	平成 25.2.20	(宗) 妙楽寺
”：建造物	金目観音堂二(仁)王門	1 棟	昭和 60.11.25	(宗) 光明寺
”：”	北金目神社本殿	1 棟	平成 6.10.20	(宗) 北金目神社
”：古文書	光明寺古文書	2 卷	昭和 35.3.31	(宗) 光明寺
”：”	清田家(尼屋)文書	6 通	昭和 37.2.8	個人(平塚市博物館寄託)
”：古記録	光明寺縁起書	1 卷	昭和 35.3.31	(宗) 光明寺
”：”	駒形神社棟札・勸化札	11 枚	昭和 35.10.30	(宗) 駒形神社
”：”	北条氏所領役帳	1 冊	昭和 61.1.24	個人(平塚市博物館寄託)
”：考古資料	「国厨」墨書土器他	—	平成 16.10.1	平塚市教育委員会
”：”	稲荷前A遺跡第1地点1号竪穴住居址出土資料 一括	—	平成 22.2.1	”
”：”	変形四獣鏡他	—	平成 22.2.1	”
”：”	真土大塚山古墳出土資料 一括	—	平成 22.2.1	”
”：”	弥生土器 広口壺1点、長胴壺1点	2 点	平成 27.2.4	平塚市(土沢中学校所蔵)
”：”	弥生土器	9 点	平成 27.2.4	東海大学
”：”	壺6点、甕1点、小形筒形土器1点、小形鉢形土器1点	—	平成 27.2.4	平塚市教育委員会
”：”	弥生土器 甕2点	2 点	平成 27.2.4	平塚市教育委員会
”：”	佐波理匙他 山王A遺跡第4地点	一括	平成 28.2.3	”
”：”	1号掘立柱建物跡出土埋納資料	—	平成 30.2.26	”
”：”	把手付き片口鍋他真田・北金目遺跡群	一括	平成 30.2.26	”
”：”	18A区(大久保遺跡)3号竪穴住居跡出土資料一括	—	平成 30.2.26	”
”：民俗資料	乙女文楽首(56点)衣裳(167点)他一括	—	平成 17.11.28	”
”：工芸品	鉄舌長鐙	1 点	平成 26.1.30	平塚市(平塚市博物館所蔵)
無形：民俗	田村ばやし	—	昭和 51.11.24	田村ばやし保存会
”：”	前鳥神社祭事	—	昭和 54.2.20	前鳥神社祭事保存会
”：”	前鳥囃子	—	昭和 61.1.24	前鳥神社囃子太鼓保存会

#### 4 国登録有形文化財 5件（建造物5）

種別	名称	員数	指定年月日	所有者・保持団体
建造物	旧横浜ゴム平塚製造所記念館	1棟	平成 16.7.23	平塚市
”	原家住宅主屋	1棟	平成 31.3.29	法人
”	原家住宅茶室	1棟	平成 31.3.29	法人
”	原家住宅土蔵	1棟	平成 31.3.29	法人
”	原家住宅旧長屋門	1棟	平成 31.3.29	法人

合計 62 件





### (3) ふるさと歴史

平成 13 年 4 月から、社会教育部社会教育課に「ふるさとひらつかの歴史を今日的視点から再発見・再発信し、郷土への愛着と誇りを育む」ことを目的としてふるさと歴史担当を設置し、「ふるさと歴史再発見」の諸事業を展開しました。その後、平成 20 年度に同課文化財保護担当に事業及び事務を統合しました。

現在は、市内各地に設置されている歴史的文化遺産説明板等の適切な維持管理に努めるとともに、市内各地区で活動する歴史再発見活動団体の事業等への支援や情報提供等を行っています。また、再発見活動団体から発展した「金目エコミュージアム」が、金目地区内の歴史、文化、自然、産業等の豊かな資源を再発見・研究し、地域全体を博物館として活用しつつ、新しい「まちづくり」に展開していく活動を行っています。

このほか、毎年 9 月には「食道楽」の著者であり、食育の重要性を提唱した郷土の小説家「村井弦斎」を偲ぶ「村井弦斎まつり」を開催しています。まつりでは、当時弦斎の屋敷で行われた野点や、弦斎カレーを始めとする復元された弦斎料理の数々を紹介しています。



第 19 回村井弦斎まつり 野点

## (4) 図書館

### 中央図書館

昭和45年4月に、現在の地に「平塚市図書館」として開館しました。平成3年以降、北図書館、西図書館、南図書館が順次開館し、4館をオンラインで結び資料の搬送を相互に行うことにより、市内の図書館4館と移動図書館あおぞら号で資料の貸出・返却ができるようになりました。さらに、市内だけでなく、近隣の2市2町（伊勢原市・秦野市・大磯町・二宮町）をはじめ、平成11年に茅ヶ崎市図書館、平成20年に厚木市図書館との相互利用が開始され、市外の図書館の個人利用が可能となりました。また、市内の大学（神奈川大学・東海大学）図書館との交流事業も行われています。

平成25年からは来館できない方や読書が困難な方へのサービスを充実させるため、「移動図書館車事業」「出前図書館事業」「視覚障がい者郵送サービス」を「来館できない人への図書館サービス事業」に統合しました。また、図書館から離れた場所にある公民館（7か所）や、平塚駅に近い市民活動センターに返却ポストを設置、駅前市民窓口センターでも資料の返却が可能となりました。令和4年3月には「平塚駅東改札口返却ポスト」を設置、「駅前予約図書受取所」をラスカ平塚3階駅前市民窓口センターに開設して予約資料の受取りと返却が可能となりました。

平成30年には「平塚市図書館設置70周年記念事業」として、新たな図書館キャラクター「ぶくまる」を制作、「おしえて！みんなのすきな本」「図書館の思い出募集」「本の福袋」などの記念イベントを開催し、さらに平塚信用金庫から「読書通帳」の寄贈を受け、中学生以下のお子さんに配布し好評を得ました。

同年に図書館ホームページをリニューアルし、ホームページからのレファレンス受付を開始、貸出点数を各館7点から全館で15点に変更して利用の選択性を広げました。

また、平成29年には「心をつなぐ紙芝居の会」との共催で「平和の紙芝居の上演会」を、平成31年4月にはひきこもり等自立支援を行う「NPO法人ぜんしん」との市民提案型協働事業を開始するなど、他団体との連携事業も行っています。

令和2年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため一時休館となり、開館再開後も一部サービスを縮小・変更、イベントの中止または延期を余儀なくされました。そこで非来館型サービスとして、図書館カードの郵送受付を開始、自宅学習をサポートするため図書館ホームページにリンク集「おうちでの学習に役立つサイトをお知らせします」を追加、放課後児童クラブ（学童保育）への出前図書館を開始、令和3年には電子図書館の開設や図書館ホームページにデジタルアーカイブを開設するなど、社会の状況に合わせた情報提供、読書支援などの多様なサービスや事業を展開しています。

中央図書館は市内に4館ある図書館の中で最多の資料を有し、児童サービスも含め平塚市を中心とした県内の地域資料の収集・提供やレファレンスサービスの中心館としての役割を担っています。今後も市民に、より図書館を身近に感じてもらえるよう、サービスの向上に努めていきます。



中央図書館 外観

## 北図書館

平塚市北図書館は、市内2番目の図書館として、北部の神田地区に平成3年5月7日に開館しました。西方を望むと窓越しに富士山や丹沢連峰が一望できる素晴らしい環境の中にあります。

施設は神田公民館との複合施設で、床面積は2階部分の約1,000㎡となっています。館内にはCDやDVDなどが視聴できる「視聴コーナー」や、子どもが靴を脱いでゆったりと絵本を選ぶことができる広々とした「おはなしコーナー」、幅広い年齢の方々が落ち着いて過ごすことができるユニークな「畳コーナー」などがあります。

図書館資料は、令和4年3月現在、図書約10万冊、CD約4,500枚、ビデオ約2,200本、DVD約700枚、紙芝居約900組、雑誌54誌、新聞8紙を備えています。

平成28年10月に、「北図書館開館25周年記念小さな展示会」を実施し、「食道楽の家系」をテーマに、平塚市ゆかりの作家である村井弦斎とその家族の著作を展示しました。「小さな展示会」はその後北図書館の新たな展示コーナーとして、図書館の資料等に興味を持っていただくため、「懐かしの怪獣ブロマイド ウルトラマンシリーズ放送開始50年」「郷土かるた」「知られざる福井準造 社会問題研究者から農政家、政治家へ」「木谷實と川端康成ー小説『名人』をめぐるー」など、様々なテーマで展示を行っています。

北部の郊外地域という立地の特性から、園芸関係や、料理や手芸などに関する図書の収集に努めています。そのほかにも、一般書・児童書それぞれの図書館資料を、季節や話題のテーマで集めた特集展示を実施しています。また、小さなお子さんやその保護者にも図書館や本に親しみをもってもらえるよう、毎月第1水曜日の「赤ちゃんおはなし会」、毎月第2・第4水曜日の幼児から小学校低学年までを対象とした「おはなし会」で、絵本の読み聞かせや紙芝居などを行っています。



北図書館 外観

## 西図書館

平塚市西図書館は、市内3番目の図書館として旭地区に平成5年5月8日に開館しました。他の2地区館とは異なり単独施設で、2階建て・延べ床面積は約1,539㎡です。1階部分は子ども閲覧室、お話しコーナー、事務室、視聴覚室からなり、DVD等が楽しめるAVコーナーが7席あります。2階部分は一般閲覧室、事務室、書庫、対面朗読室兼会議室があります。

図書館資料は、令和4年3月現在、図書約12万冊、CD約4,800枚、ビデオ約1,900本、DVD約800枚、紙芝居約2,400組、雑誌78誌、新聞8紙を備えています。なお、視聴覚資料（紙芝居を除く）の収集は平成27年度で終了しています。

平成31年3月には開館25周年記念展示「7つの小さな展示めぐり」を実施しました。これは1階、2階の閲覧室の7か所にテーマの違う展示コーナーを設け、利用者に巡ってもらうことで、普段行かない階や書架にも足を運んでいただくことができました。

西図書館は湘南平のふもとにあり、周辺は住宅地で、大きな団地がいくつもあり、幼児・児童の数も多いため、児童サービスに力を入れてきました。毎月第2・第4水曜日には、幼児から小学校低学年までを対象とした「おはなし会」を開催し、本の読み聞かせや紙芝居、簡単な工作等を行っています。子どもたちに喜んでもらうため、毎回いろいろと趣向を凝らし、子どもだけでなく保護者の方も楽しみにしています。また、毎月第3水曜日に開催している「赤ちゃんおはなし会」では、絵本の読み聞かせや紙芝居のほか、保護者の方が赤ちゃんと一緒に楽しめる手遊びやわらべ歌も紹介しています。そのほかに人形劇、七夕まつりの竹飾り、夏休みには「こども映画会」など時季にあった行事、展示を行っています。



西図書館 外観



## 南図書館

平塚市南図書館は、市内4番目の図書館として平成8年5月28日に開館しました。

南図書館は徒歩数分で相模湾を一望できる袖ヶ浜海岸に行くことができます。また、施設は「なぎさふれあいセンター」として「南部福祉会館」「デイサービスセンター」、花水公民館付属の「地区体育館」との複合施設となっています。

南図書館3階部分(約917㎡)に一般向け図書と子ども向け図書の閲覧室、新聞・雑誌コーナー、AVコーナー、子どもたちのためのお話しコーナーなどがあり、2階部分(約259㎡)に事務室、書庫などがあります。

図書館資料は、令和4年3月現在、図書約12万冊、CD約4,100枚、DVD約900枚、紙芝居約1,700組、雑誌94誌、新聞9紙などを備えています。

平成28年の開館20周年の折には、「南図書館開館20周年記念特集」として特別展示を実施しました。第一弾として、平成28年12月1日から平成29年1月15日まで「作家戸川貞雄とその息子」と題し作家で平塚市の第7・8代市長であった戸川貞雄氏とその次男で作家の菊村到氏を特集しました。

引き続き第二弾として平成29年1月20日から2月21日まで「BELLMAREを読もう」を実施し、湘南ベルマーレ関係者著書の展示と貸出、関連書籍、懐かしい写真やユニフォームやグッズなどの展示を行いました(湘南ベルマーレはこの年のJ2で優勝してJ1昇格を果たしました。)

図書館資料の収集に当たっては、海に近い図書館として、マリンスポーツ、航海、海に関連する生物や環境に関する本などの「海の本」や、福祉施設との複合施設でもあることを意識して、高齢者向けの本や福祉に関する本等を収集しています。

また、図書館資料をテーマに沿って集めた特集展示を実施、毎月第1水曜日には「赤ちゃんおはなし会」を、毎月第1・第3水曜日には幼児から小学校低学年までを対象とした「おはなし会」を行い、読み聞かせ、紙芝居、工作などを通して図書館や本に親しみをもってもらえるよう様々な試みを行っています。



南図書館 外観

## 統計でみる平塚市図書館のあゆみ

### 登録者数（人）

	H4	H6	H8	H13	H24	H28	R2	R3
中央図書館	67,335	48,278	52,093	70,302	66,129	60,958	54,862	52,920
北図書館	6,409	8,343	8,533	12,677	12,025	10,682	9,179	8,769
西図書館	－	8,014	11,481	17,958	17,848	16,036	13,666	13,047
南図書館	－	－	4,029	11,542	15,136	14,257	12,638	12,206
計	73,744	64,635	76,136	112,479	111,138	101,933	90,345	86,942

※令和2年は新型コロナウイルス感染予防対策のための休館あり

### 蔵書冊数（4館合計・冊）

	H4	H6	H8	H13	H24	H28	R2	R3
一般・参考図書	221,531	319,627	414,913	479,407	557,821	571,877	569,454	531,575
児童図書	99,226	160,100	202,796	223,068	241,891	236,519	232,692	233,489
雑誌	8,508	20,626	25,511	35,234	24,653	21,848	19,426	18,831
計	329,265	500,353	643,220	737,709	824,365	830,244	821,572	783,895

### 利用統計

	H4	H6	H8	H13	H24	H28	R2	R3
貸出者数	269,286	358,294	422,098	420,575	613,803	537,514	363,076	452,202
個人貸出点数	775,927	1,307,736	1,503,488	1,407,418	1,686,430	1,423,133	1,052,821	1,292,163
レファレンス件数	2,157	10,177	15,355	12,512	25,263	28,835	6,794	8,689
リクエスト件数	8,291	17,389	33,132	48,768	262,608	226,082	248,657	275,370

	H17	H19	H22	H24	H28	R2	R3
展示回数	96	89	87	94	113	110	128
ブックスタート参加者数※1	812	2,387	2,396	2,464	2,973	1,722	1,495
来館出来ない人への貸出数(出前・団体)※2	6,195	7,647	6,940	7,676	6,965	9,471	8,460
一日図書館員応募者数 (募集人数)	379 (222)	466 (228)	286 (234)	249 (234)	492 (209)	中止	465 (138)
参加者数	203	219	202	186	200		125

※1 ブックスタート開始は平成17年9月（参加者数は保護者等も含む）

※2 出前図書館開始は平成19年1月

### ブックスタートパック





## 出前図書館

平成19年1月から、出前図書館を開始し、令和3年度で14年目を迎えました。出前図書館の目的は、市内施設を図書館車両で訪問し図書館サービスを提供することによって、広く市民が図書や読書に親しむ機会をつくり、図書や図書館に対する興味・関心を養うことです。

主に、幼稚園・保育園・各種学校に訪問して図書の貸出を行っていましたが、利用団体を拡大し、出前図書館の取組を促進するため、令和元年度より新たに高齢者等入所施設にPRを行い、貸出を実施しました。

しかし、新型コロナウイルス感染症による影響から、多くの団体が利用の停止を余儀なくされました。このような状況下において、令和2年度から、図書館の資料を活用し子どもが安心して過ごせる環境をつくることを目的に、市内の放課後児童クラブ（学童保育）に出前図書館をPRし、図書館資料の貸出の利用を勧める取組を開始しました。図書館車両（移動図書館あおぞら号）が駐車する場所を確保することが難しい施設が多いため、図書館職員が選定し箱詰めした図書を、軽自動車で届けています。

コロナ禍で学校や図書館に行けない子どもたちに図書を提供したところ、子どもたちからは「普段見ることのできない本があって嬉しい」、放課後児童クラブ（学童保育）のスタッフからは「学習や読み聞かせに役に立つ」などの声をいただき好評でした。現在も多くの放課後児童クラブ（学童保育）に継続して利用していただいています。



放課後児童クラブ（学童保育）へ図書を運ぶ様子

県立平塚ろう学校への出前図書館の様子



## 電子図書館・デジタルアーカイブ

令和3年7月7日から平塚市電子図書館を開設しました。電子書籍は、インターネットに接続できる環境があれば、来館しなくても、24時間いつでもパソコン、スマートフォン等で貸出、閲覧等が可能です。利用資格は、平塚市内に在住・在勤・在学の方で、平塚市図書館の図書館カードをお持ちの方となります。視覚に障がいのある方でも利用いただけるよう、読み上げ機能のある資料も所蔵しているほか、文字拡大機能があります。

導入のきっかけは、新型コロナウイルス感染症による影響から図書館が閉館を余儀なくされた時期があったことでした。その後、図書館が開館しサービスを再開した後も、人との接触を避けるために非来館型のサービスが求められることとなりました。今までと違う生活環境の中で、図書館サービスをどのように利用してもらえるかを考え、電子図書館の導入に踏み切りました。

電子図書館のメリットとしては、図書館に足を運ぶことが難しい高齢者や障がい者、現状では利用が少ない中高生、日中に仕事をしている人など、日頃図書館を利用していない層の利用を促すことが可能な点です。また、運営管理に当たり貸出・返却・予約の自動化や書架スペース問題の解消、汚破損・紛失の回避などが可能です。

また、電子図書館と同日にデジタルアーカイブの公開をスタートしました。情報提供サービスの一環として、図書館が所蔵する平塚市に関連する資料をデジタル化し、図書館ホームページで公開しています。どなたでも利用することが可能です。歌川広重の浮世絵、旭村・金田村・城島村の合併前の古い村勢要覧などを閲覧できます。



平塚市電子図書館ホームページバナー

## 子ども読書活動推進事業

平塚市では平成17年3月に「平塚市子ども読書活動推進計画（第1次）」を策定しました。

平成19年度から、家庭、地域、学校が連携して子どもの読書活動を進めていくため、中学校の学区を範囲として、「子ども読書活動推進地区」を指定し、協議会を設置して様々な取組を積極的に進めていきました。平成20年度には、市内15中学校区に子ども読書活動推進協議会を設立し、全市的に子ども読書活動を推進する体制が整いました。平成22年度には子ども読書活動ネットワークが設置され、図書ボランティアの交流のための事業実施、機関誌「LINK」を発行し情報共有を図るなど、地区の垣根を越えた「連携・共有・支え合い」を図るための活動を続けています。

また、本事業の主な取組の一つとして、子どもの読書活動推進に関わる講演や実践事例を紹介する「平塚市子ども読書活動推進フォーラム」を平成19年度から開催し、読書活動の重要性を広く啓発するとともに、子どもが読書に親しむための環境づくりを進めました。

これらの活動をさらに推進していくため、平成22年度に「平塚市子ども読書活動推進計画（第2次）」を策定し、平成24年度から所管を社会教育課から中央図書館に移管しました。

平成26年度には第1回子ども読書活動推進懇話会を開催し、中央図書館初の個別計画となる「平塚市子ども読書活動推進計画（第3次）」を策定、令和元年度には第4次計画を策定しました。

令和2年度からは「平塚市子ども読書活動推進フォーラム」を「平塚市子ども読書活動推進プロジェクト」に改称し、「読書感想文の書き方講座・ビブリオバトルに挑戦しよう」の開催など、実践型イベントも取り入れた活動を実施しています。今後も各中学校区子ども読書活動推進協議会と連携しながら、子どもの読書環境の整備を進めていきます。

## 本の福袋

平成 29 年度の夏に、北図書館で空調が故障したため、おはなし会を中止し代替サービスとして本の福袋の貸出を実施しました。その反響がたいへん大きかったことを受け、同年度の年末に中央図書館でも、普段手に取られにくい本の利用の拡大、来館・貸出の促進、職員のスキルアップを目的とし、本の福袋の貸出を実施しました。利用者からは好評の声をいただき、問合せや要望が多数ありました。

利用者の声を受けて実施方法や時期を再考し、平成 31 年 1 月に平塚市図書館設置 70 周年記念事業の一環として、本の福袋の貸出を全館で実施し、開始後 4 日間で終了するほどの人気を博しました。

それ以降、よりお正月らしい演出を行うなどの改良を重ね、毎年新年恒例のイベントとして定着しました。




「福袋」展示の様子 中央図書館貸出室



「福袋」展示の様子 中央図書館こども室





## 図書館の10年

平成25年	4月 8月 10月～12月  11月	返却窓口2施設を増設（城島公民館、土屋公民館） 中学生・高校生ボランティアの募集を開始 「市民の図書館体験」を北図書館・西図書館で開始 神奈川大学との交流事業で特別展示「蔵書票の魅力」開催 2月に平塚市と静岡県伊豆市が友好都市の提携を結んだことを記念し、「伊豆市・友好都市提携記念～友好都市を知る～」展示を中央図書館で実施 リサイクル雑誌の提供方法を、随時リサイクル棚に設置する方法に変更
平成26年	1月～3月 3月 5月 7月 9月      10月	平日木曜日に予約不要のブックスタート個別対応を開始 きりんのおうちでのブックスタート開催／平塚信用金庫からの児童書の寄贈 第1回子ども読書活動推進懇話会を開催、図書館初の個別計画となる子ども読書活動推進計画（第3次）の策定に本格的着手 博物館・美術館との3館コラボ事業として中央図書館でスタンプラリーと子ども室で絵本原画展の作品を展示 「平塚ゆかりの作家 中勘助を知る会」主催の講演会を中央図書館で開催 その後、地区図書館でも巡回展示を実施  <div data-bbox="582 1106 887 1137" data-label="Caption"> <p>中勘助展（中央図書館）</p> </div>  神奈川大学との交流事業でオリンピックの起源に関する貴重書の特別展を実施
平成27年	3月 7月    8月 12月～3月	大神公民館と岡崎公民館に返却ポストを設置 博物館・美術館との3館コラボ事業として、株式会社不二家のキャラクター「ペコちゃん」の一日図書館長を実施 ブックスタート事業開始10周年を記念し、おはなし会で共同制作実施  <div data-bbox="443 1581 930 1928" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="951 1720 1374 1751" data-label="Caption"> <p>ブックスタート10周年共同制作</p> </div> 中央図書館で中学生・高校生向け臨時学習室を開設 平日木曜日に予約不要・個別対応ブックスタートを実施

平成 28 年	<p>3月 中央図書館で「みんなあつまれ！とくべつおはなし会」を実施</p> <p>4月 保健センターの「7か月児相談」（4月から開始の事業）でブックスタートを開催（「すくすく子育て教室」は3月で終了）</p> <p>10月 北図書館開館 25 周年記念で展示コーナーを新設、「小さな展示会」を始める</p> <p>11月 宮沢賢治生誕 120 年記念事業として、パネル・図書の展示、映画会を実施 産業振興部農水産課と共同で顔出しパネルを制作して中央図書館に展示</p>	 <p style="text-align: right;"><b>宮沢賢治生誕 120 年記念 顔出しパネル</b></p> <p>12月 南図書館 20 周年記念で展示コーナーを設けて、ミニ展示会を実施</p>
平成 29 年	<p>3月 リトアニア文化交流センターからリトアニア関連の図書の寄贈</p>	<p style="text-align: center;"><b>リトアニア関連図書贈呈式</b></p>  <p>4月 中央図書館参考室にインターネット用端末を設置 金目小学校・中学校五領ヶ台分校開校に当たり、児童書等寄贈</p> <p>7月 中央図書館で「特別おはなし会」を開催。終了後に教員 OB による読書感想文の相談窓口を開設 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供を開始 北図書館で空調が故障したため、おはなし会を中止し、代わりに「本の福袋」を貸出し</p> <p>8月 「心をつなぐ紙芝居の会」との共催で、中央図書館 3 階ホールで「平和の紙芝居の上演会」を開催</p> <p>10月 中央図書館で、平塚市成年後見利用支援センター職員による成年後見制度講座を「暮らしに役立つ図書館講座」として初めて実施</p> <p>12月 中央図書館で「本の福袋」を実施</p>



平成30年	<p>2月 平塚市図書館設置70周年記念事業キャラクター「ぶくまる」誕生</p> <p>6月 ツイッターを開始 図書館ホームページをリニューアル 図書館ホームページからのレファレンス受付を開始 貸出点数を各館7点から全館15点（視聴覚資料は7点以内、あおぞら号は別に10点以内）に、予約点数を全館7点から15点（視聴覚資料は7点以内）に変更</p> <p>7月 子ども読書活動推進フォーラムを初めて中央図書館で開催</p> <p>8月 平塚市図書館設置70周年記念事業キャラクター「ぶくまる」LINEスタンプ販売 平塚市図書館設置70周年記念事業「おしえて！みんなのすきな本」実施(11月まで)</p> <p>10月 中央図書館で、体験型ランニングイベント「RUN×LIBRARY～まずはゆっくり走ってみませんか～」を開催 市内ボランティアによる英語のおはなし会を中央図書館で実施（2月まで毎月1回開催） 平塚市図書館設置70周年記念事業として読書通帳を平塚信用金庫から寄贈いただき、全図書館とあおぞら号で中学生以下のお子さんに配布（3月まで）</p>	<p style="text-align: center;"><b>読書通帳</b></p>  <p>11月 平塚市図書館設置70周年記念事業「図書館の思い出募集」実施</p>
平成31年  令和元年	<p>1月 平塚市図書館設置70周年記念事業として「本の福袋」を全図書館で実施 中央図書館で、平塚中等教育学校の生徒（前期1年生）を対象に館内探索型図書館ガイダンス「ミッションインポッシブル in 平塚市中央図書館」を開催</p> <p>3月 西図書館開館25周年記念展示「7つの小さな展示めぐり」を開催</p> <p>4月 NPO法人ぜんしんととの市民提案型協働事業を開始 次の元号（令和）決定に万葉集が関連していることから、万葉集に関するミニ展示を中央図書館で実施（5月まで）</p>	 <p style="text-align: center;"><b>万葉集ミニ展示(中央図書館こども室)</b></p> <p>8月 平塚中等教育学校の「探求的な学習推進部会」に職員が委員として参加</p> <p>10月 中央図書館窓口業務委託のためのプロポーザルを実施(公告、プレゼンテーション)</p> <p>11月 三菱ガス化学株式会社からの「生物多様性の本箱」の寄贈</p>

令和  
2年

- 2月 平塚市子ども読書活動推進計画（第4次）を策定
- 3月 新型コロナウイルス感染症対策のため、全図書館休館、あおぞら号運休(2日～31日)
- 4月 中央図書館窓口等業務(こども室、貸出室)を株式会社ヴィアックスに委託開始(参考室、移動図書館は直営継続)  
移動図書館あおぞら号のステーションについて、城島公民館、浄心寺を城島小学校に統廃合  
一部サービスを制限して開館(1日～8日)  
緊急事態宣言発出に伴い、全図書館休館(9日～5月12日)  
放課後児童クラブ(学童保育)への出前図書館サービスを開始
- 5月 図書館カード(新規登録)の郵送受付を開始  
予約資料の受取り、返却、リクエストカードの受付を再開(13日～)  
飛沫対策のため各館カウンターにビニールカーテン設置
- 6月 一部サービスを制限して開館  
あおぞら号の運行再開(学校は除く)
- 7月 三密を防ぐため、長時間の利用は避けるようお願いして閲覧席開放等サービス再開  
ブックスタート(中央図書館、パックのお渡しのみ)再開
- 8月 ブックスタート(保健センター、パックのお渡しのみ)を再開
- 9月 ブックスタート(各地区図書館、パックのお渡しのみ)を再開
- 10月 中央図書館でおはなし会の再開  
(月1回、定員10人、事前予約制、時間短縮、会場を会議室に変更)



おはなし会再開(中央図書館)

- 11月 中央図書館で一日図書館員事業の代替として、小学6年生を対象とした「図書館探検隊～図書館の仕事の秘密を探せ!～」を実施



図書館探検隊(中央図書館)

令和3年	<p>1月 緊急事態宣言発出を受けて、手指消毒液を増設。中央図書館に非接触型検温・消毒器とオゾン・除菌消臭器を設置</p> <p>3月 全館の閲覧席等に飛沫対策としてデスクトップパネルを設置 「これからの平塚市図書館運営のあり方」を策定</p> <p>6月 中央図書館で「赤ちゃんタイム」を開始（赤ちゃん連れのご家族に気兼ねなく図書館を利用してもらうために、毎月第3水曜日9時～13時に実施）</p> <p>7月 電子図書館開設・デジタルアーカイブ開設</p>	 <p><b>デジタルアーカイブで公開した 「東海道五十三次之内 平塚 馬入川舟渡しの図【行書東海道】」</b></p> <p>令和4年度からの地区図書館(北図書館・西図書館・南図書館)指定管理者の募集実施</p> <p>7月～8月 一日図書館員事業を、2年ぶりに全館で実施 「夏休み中学生・高校生図書館ボランティア」事業を2年ぶりに中央図書館で実施</p> <p>8月 平塚市子ども読書活動推進プロジェクト（第1回）「読書感想文の書き方講座・ビブリオバトルに挑戦しよう」実施</p> <p>10月～11月 ボランティア養成講座を2年ぶりに開催 （10月「読み聞かせ はじめの一步」、11月「初心者向け紙芝居講座」）</p> <p>12月 「冬休み中学生・高校生図書館ボランティア」実施</p> <p>12月～1月 令和4年度からの地区図書館の指定管理者を株式会社ヴィアックスに指定地区図書館でおはなし会（事前予約制、時間短縮、会場変更）の再開 （新型コロナウイルス感染拡大の影響により2月～3月は中止）</p>
令和4年	<p>1月 図書ボランティア向け講習会「から～せらびい&amp;ワークショップ」実施</p> <p>3月 NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で、平塚市ゆかりの人物が登場する回の放送後、図書館ホームページのツイッターで人物紹介を開始</p> <p>平塚市子ども読書活動推進プロジェクト（第2回）「オリジナル絵本を作ってみよう！」実施</p> <p>駅前予約図書受取所をラスカ平塚3階駅前市民窓口センター内に開設</p> <p>平塚駅東口改札口に返却ポスト設置</p> <p>リクエスト資料のはがき連絡の受付を終了</p>	<p><b>平塚駅東口改札口返却ポスト（設置時の様子）</b></p> 



## (5) 平塚市博物館



### ● 1階展示テーマ●

#### ー相模平野と人間ー

- 1 博物館にようこそ
- 2 もっと知りたい私たちのまち
- 3 相模川流域をさぐる
- 4 相模川のめぐみ
- 5 くらしと金目川
- 6 里山の四季
- 7 海と山を結ぶ鳥  
ーアオバトー
- 8 まちの中の石材
- 9 五領ヶ台のくらし
- 10 塚越古墳とむら
- 11 平塚宿
- 12 相模の家
- 13 寄贈品コーナー



### ● 2階展示テーマ●

#### ー地域を探るー

- 1 相模湾に生きる
- 2 浜で拾う海の自然
- 3 川から海へ
- 4 大地の生き立ち
- 5 深海のシロウリガイ
- 6 岩石と地形
- 7 生活を語る土器
- 8 道具の歴史
- 9 まつりの世界
- 10 相模国府を探る
- 11 農家の四季
- 12 宿場のくらし
- 13 講のつどい
- 14 失われるもの
- 15 地震と平塚の地盤
- 16 都市と生物
- 17 昭和のくらし
- 18 情報コーナー



### ● 3階展示テーマ●

#### ー星のひろばー

#### プラネタリウム

#### 星のひろば

- 1 天文なんでもコーナー
- 2 いん石ー宇宙の情報箱ー
- 3 太陽は今
- 4 太陽と太陽系の惑星たち



## 経過と基本構想

平塚市博物館は、過去・現在・未来にわたる「相模川流域の自然と文化」を展望し、望ましい人間形成の一助を担うことを使命としている「地域総合博物館」です。

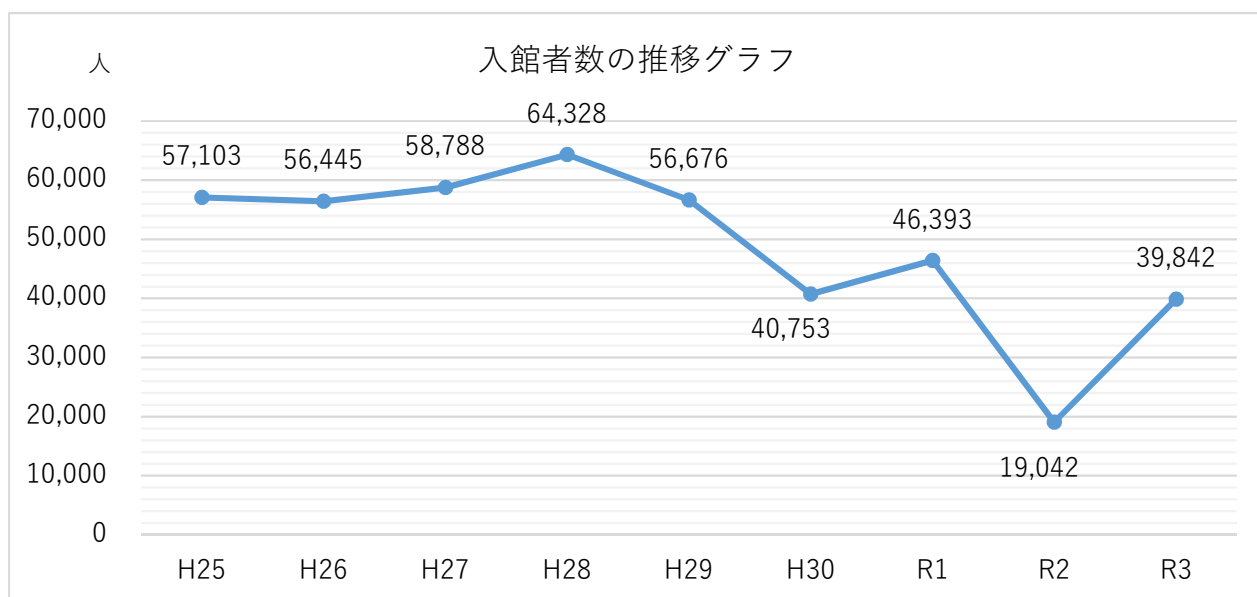
私たちをとりまく自然や身近な生活の中には、わからないことがたくさんあります。それらを一つ一つ掘り起こし、いろいろな視点から自然と文化について見直して行きたいと思います。それが、地域の未来を切り開く糸口になればと考えています。

昭和 51 年の開館当時、地方都市における博物館は、現在ほどの隆盛はなく、あるとしても小規模で、そのほとんどが考古、歴史、民俗等の特定分野のみ扱ういわゆる単科博物館が主流で、行政区域だけの資料を扱っていました。

しかし、平塚市では、歴史・考古・民俗・生物・地質・天文の各分野の視点を複合させた展示や普及活動、調査研究活動を行う真の「総合博物館」を目標とし、行政区域にとらわれない、より広い地域を館のフィールドとするため、地理学的な相模川流域に金目川流域を含んだ「相模川流域」を調査研究対象とするフィールドを設定し、館の諸活動を実施することとしました。そのため、自然、人文の専門分野をもつ総合博物館として、館のテーマ「相模川流域の自然と文化」を明確に打ち出しました。

また、平塚市博物館は、観光地や大都市に立地した博物館ではないため、市民の方々に幾度となく足を運んでもらえるような密接なつながりを作ることが必要でした。そのため、常設展示だけではなく、体験学習を始めとした活発な各種教育普及活動が必要とされ、実施してきました。

このような、教育普及活動を重視し、館独自のテーマをもつ「地域博物館」という構想は、全国的にも例のない、新しい博物館のあり方として、開館 46 年を経過した現在に至っても中小都市に建設される多くの博物館のモデルとして注目されているとともに、市民を始め、来館者・関係機関等から「よりよい生活をするためによりよく地域を知る」博物館として親しまれています。





## 主な行事参加者数の推移

	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
体験学習	回数	7	6	20	17	6	9	10	1	14	90
	人数	107	149	553	537	154	179	228	19	173	2,099
考古学入門講座	回数	2	2	3	3	3	2	3	3	3	24
	人数	23	24	187	159	105	43	151	57	71	820
平塚の遺跡を歩く会/東国史跡踏査団	回数	11	12	12	10	11	10	10	4	11	91
	人数	163	147	191	131	137	138	126	76	184	1,293
古代生活実験室	回数	12	16	16	12	13	8	12	5	10	104
	人数	59	86	88	89	82	44	80	49	91	668
平塚の古代を学ぶ会	回数	13	12	12	15	12	8	11	5	11	99
	人数	184	105	122	129	65	55	68	23	64	815
平塚郷土史入門講座	回数	3	2	2	3	3	3	2		3	21
	人数	60	91	182	174	124	174	99		74	978
古文書講話会	回数	40	45	41	41	41	30	36	18	39	331
	人数	1,051	1,226	1,227	1,338	1,226	945	1,106	223	449	8,791
平塚の空襲と戦災を記録する会	回数	23	37	30	16	15	20	32	9	16	198
	人数	171	215	257	117	101	138	173	34	68	1,274
裏打ちの会	回数	11	12	12	11	10	7	10	4	10	87
	人数	104	101	108	92	75	51	81	33	59	704
地域史研究ゼミ	回数	12	12	12	12	12	12	11	3	8	94
	人数	70	48	69	56	68	89	83	20	33	536
石仏を調べる会	回数	23	25	14	14	13	11	19	10	18	147
	人数	382	424	227	198	185	143	245	126	233	2,163
平塚石仏の会	回数			9	5	6	3				23
	人数			118	48	63	32				261
民俗探訪会	回数	18	22	15	12	15	11	11	3	11	118
	人数	250	263	241	185	237	206	194	53	178	1,807
聞き書きの会	回数		24	23	36	21	7	10	3	8	132
	人数		128	120	141	71	24	40	13	42	579
ろばたばなし	回数	15	12	12	12	3					54
	人数	259	181	223	206	38					907
お囃子研究会/祭りばやし研究会	回数	22	24	29	26	22	17	20	3	9	172
	人数	116	166	163	176	166	95	70	38	125	1,115
石仏めぐり	回数	1		1	1	1	1	1		1	7
	人数	27		6	6	13	12	19		12	95
自然教室	回数	1	5			1	1	5	2	5	20
	人数	9	36			10	6	36	32	69	198
自然観察さんぽ会	回数		3	0							3
	人数		17	0							17
キノコの観察会	回数	1	1	1	1		1	1	1		7
	人数	7	4	1	6		28	6	15		67
みんなで調べよう「セミのぬげがら」 /「平塚のカタツムリ」	回数			4	4	3	3	2			16
	人数			90	51	36	75	15			267
生き物ズームプロジェクト	回数							5	3	10	18
	人数							17	15	31	63
相模川の生い立ちを探る会/地球科学 野外ゼミ	回数	12	12	11	12	12	10	10	5	8	92
	人数	109	148	132	125	165	219	278	170	301	1,647
平塚地質調査会	回数	16	15	14							45
	人数	74	62	44							180
相模川流域ジオツアー	回数				4	2	5	3	1	3	18
	人数				77	44	83	50	19	35	308
自然観察入門講座	回数	1	1	1	1	1	1	1			7
	人数	10	33	28	29	37	5	14			156
星を見る会	回数	8	9	5	6	5	6	4	3	6	52
	人数	679	728	366	508	248	1,592	245	94	226	4,686
天体観察会	回数	22	17	49	54	9	7	10	4	11	183
	人数	419	366	724	619	197	149	200	127	335	3,136
天体観察会/太陽勉強（分科）会	回数					21	19	13	11	18	82
	人数					184	182	133	93	183	775
天体観察会/流星分科会	回数					13	13	10	6	15	57
	人数					105	99	116	85	188	593
天体観察会/天文学勉強（分科）会	回数					10	6	7	4	9	36
	人数					89	61	63	74	194	481

	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
星まつりを調べる会	回数	12	13	11	15						51
	人数	136	115	81	107						439
地球科学入門講座	回数	6	6	6							18
	人数	116	130	124							370
展示解説ボランティアの会	回数	21	23	23	26	24	22	21		14	174
	人数	354	378	354	375	395	312	283		162	2,613
天文学講座（テーマ・入門）	回数	2	5	4							11
	人数	72	135	103							310
天文学連続講座/天文学入門講座	回数	6	7	15	10	9	4	6	3	9	69
	人数	233	256	507	375	360	153	267	74	213	2,438
最新天文学講座	回数				3	3	2	2	2	1	13
	人数				126	101	49	135	54	19	484
スターウォッチング入門講座/星空観察入門講座	回数			4	4	6					14
	人数			65	50	132					247
ひらつか星空調査隊	回数		9	9	5	3					26
	人数		132	144	35	34					345
プラネタリウム公演・コンサート	回数	7	6	10	8	10	4	1			46
	人数	342	281	493	406	460	180	91			2,253
プラネタリウムの現在進行形/ドーム映像を味わおう	回数							3			3
	人数							129			129
博物館子どもフェスタ	回数	1	1	1	1	1	1	1			7
	人数	2,067	1,923	1,823	1,782	1,564	1,766	2,504			13,429
講演会	回数	3		1		3	1	2	4		14
	人数	114		36		153	45	37	112		497
イブニングミュージアム	回数	15	11	0	12	12	6	12			68
	人数	310	209	0	180	258	53	284			1,294
平塚学講座/平塚学入門	回数	9	13	11	14	12	10	9		3	81
	人数	126	277	68	278	233	99	89		89	1,259
3館コラボ関連行事	回数					3	2				5
	人数					104	143				247
年間合計	回数										
		356	420	443	426	370	283	326	120	284	3,028
年間合計	参加者数										
		8,203	8,584	9,265	8,911	7,819	7,667	7,755	1,728	3,901	63,833
入館者数		57,103	56,445	58,788	64,328	56,676	40,753	46,393	19,042	39,842	
プラネタリウム観覧者数		15,305	14,517	13,801	14,248	13,453	8,731	11,035	1,553	5,576	
開館日数		299	299	300	294	296	195	272	237	296	



相模川流域ジオツアー



星を見る会

## 展示活動

### 展示の基本構想

平塚市博物館は、地域博物館という理念に基づき、「相模川流域の自然と文化」をテーマに活動しています。私たちを取り巻く自然や身近な生活の中には、まだ分からないことがたくさんあります。そうした課題を一つ一つ掘り起こし、人と自然との関わり、人と文化の関係を様々な視点から調査・研究を行っています。展示室では、その成果を地域の「過去・現在・未来」という観点に立って、テーマ展示することを目指しています。

また、「いつ来ても替わり映えのしない展示」という入館者の固定イメージから脱却し、最新の情報をより早く市民に公開することを目指しています。そのため、「入館者に対し魅力ある新鮮な博物館」を実現するため、定期的に常設展示の展示替えを実施してきましたが、耐震補強を含む大規模改修が見込まれることから、平成17年度を最後に、大規模な展示の更新を行っていません。

### 常設展示

#### メインテーマ『相模川の自然と文化』

常設展示では、開館以来既に大規模な展示替えを5回実施しています。これら5回の展示替えにより、その大部分が変更され、現在に至っています。

#### 1 「相模平野と人間」1階常設展示テーマ

相模川によって作られた相模平野の大地や自然の様子と、その恩恵を受けた人々の暮らしを、地模型やジオラマ、移築した民家などにより展示し、自然と人々との関わりを紹介しています。

- (1) 博物館によろこそ
- (2) もっと知りたい私たちのまち
- (3) 相模川流域をさぐる
- (4) 相模川のめぐみ
- (5) くらしと金目川
- (6) 里山の四季
- (7) 海と山を結ぶ鳥 - アオバト -
- (8) まちの中の石材
- (9) 五領ヶ台の暮らし
- (10) 塚越古墳とむら
- (11) 平塚宿
- (12) 相模の家
- (13) 寄贈品コーナー



1階展示：相模川流域をさぐる

## 2 「地域を探る」2階常設展示テーマ

2階の常設展示は、相模川流域の自然や生活に関わるいろいろな情報について、実物資料を中心とした展示をしています。流域の自然と文化をより深く理解し、過去の情報から現在や未来までも見つめられるように展示構成されています。

- (1) 相模湾に生きる
- (2) 浜で拾う海の自然
- (3) 川から海へ
- (4) 大地の生き立ち
- (5) 深海のシロウリガイ
- (6) 岩石と地形
- (7) 生活を語る土器
- (8) 道具の歴史
- (9) まつりの世界
- (10) 相模国府を探る
- (11) 農家の四季
- (12) 宿場の暮らし
- (13) 講のつどい
- (14) 失われるもの
- (15) 地震と平塚の地盤
- (16) 都市と生物
- (17) 昭和の暮らし
- (18) 情報コーナー



(1) 相模湾に生きる



(2) 浜で拾う海の自然



(17) 昭和の暮らし

## 3 「星のひろば」3階常設展示テーマ

この展示コーナーは、平成 23 年度に当館 3 代目となったプラネタリウム室への導入となる空間であり、開館当初より天文分野の展示を行っています。現在では平成 17 年度の第 5 次展示替えにより、2階から3階の踊り場壁面に太陽と太陽系パネル展示をし、太陽パネルにビデオプロジェクターで太陽フレアなどの映像を投影しています。2～3階の壁面に設置した液晶モニターでは、太陽や惑星、流星の映像などを紹介し、3階プラネタリウム前の星のひろばでは、隕石の実物展示を行っています。

プラネタリウム

太陽と太陽系の惑星たち

いん石—宇宙の情報箱—

最近の火球や流星

最近の太陽



3階：プラネタリウム



## インターネットの活用とSNSの運用

平塚市博物館のホームページは、二つの目的をもって運営されています。一つは博物館の収集・整理・分析した成果を公開し、活用を図ること。もう一つは、博物館の事業や活動を広く市民に周知することにより、博物館の利用促進を図るとともに、博物館事業への参加を促すことにあります。

平成12年6月30日のホームページ開設以来、システムやデザインの更新等を重ね、現在では、行事案内、プラネタリウム、Web読み物、教室・ワーキンググループ、展示室、刊行物、博物館アーカイブ等のページを公開し、随時コンテンツの充実を図っています。

令和2年以降のコロナ禍に当たっては、家庭で博物館の資料や情報の一端に触れられる子ども向けコンテンツ集「おうちで楽しむはくぶつかん」をホームページ内に開設、YouTubeを活用した動画コンテンツも多数公開しました。

さらに、76のテーマで、平塚の自然や文化を紹介するYouTube動画シリーズ「平塚学入門」は、毎週1テーマを追加・公開しました。

近年、急速に普及したSNSでは、令和3年度からLINEとTwitterの運用を開始し、情報発信の多様化を図りました。

令和3年度のホームページへのアクセス数は、323万3,563件ありました。

## 特別展示

1階に設けられた特別展示室では、開館以来、年間3回の特別展を企画・実施しています。特別展示では、館の調査・研究・普及活動の成果や、収蔵資料の紹介、寄贈コレクションを展示しています。また、常設展示では扱えなかったテーマの展示も実施しています。

## 特別展示開催状況

### 〈平成25年度〉

真田・北金目遺跡群

蔵出し！びっくり・はてな資料展

水と生きる里 ―金目の風土とその魅力―

### 〈平成26年度〉

ぼくたちはひとりぼっち？ 地球の外に生命を探して

平塚の石仏 ―3058の祈りと願い―

天変地異 ―平塚周辺の自然災害―

### 〈平成27年度〉

古代生活実験室 ―とにかくやってみよう―

後世に残したい相模川流域の地球遺産 ―相模川をジオパークに―

ひらつかの家康伝説 ―由緒と地域―



平成25年度春期特別展

水と生きる里―金目の風土とその魅力―



〈平成 28 年度〉

レンズが見たひらつか2 1976-2016  
知られざる平塚のロケット開発  
女の子と男の子のお雛さま ～桃と端午の節句人形～

〈平成 29 年度〉

川原の石のメッセージ —ひろって学ぶ大地のなりたち—  
ひらつかの村絵図を読む  
四之宮前鳥神社 —その神輿と地域の信仰—

〈平成 30 年度〉

火星 ～赤い惑星のひみつ  
かながわの遺跡展「潮風と砂の考古学」  
民具の物語

〈令和元年度〉

平塚学入門  
賢治がみつめた石と星

〈令和 2 年度〉

空を見上げよう 光と色の不思議  
よみがえる少年の日々 —佐草健ボールペン画展—  
火球と隕石

〈令和 3 年度〉

平塚空襲 その時、それまで、それから  
神奈川の大地 —1億年の記憶—  
掘り起こされた平塚IV —姿をあらわす遺跡たち—



平成 28 年度夏期特別展  
「レンズが見たひらつか2」



令和元年度夏期特別展  
「平塚学入門」



令和元年度冬期特別展  
「賢治がみつめた石と星」

## プラネタリウムの運営

プラネタリウムは、地上から観測される天文現象を理解するに当たり、極めて効果の高い教育機器です。これも常設展示と同様に、地域に立地する館としては、反復して見てもらえるような運営が要求されます。そのため、開館以来、一般投影は、ほぼ2か月ごとにテーマを新しくし、投影内容にも変化をもたせるようにしてきました。

開館と同時に導入されたプラネタリウム GX-10 は、開館後 13 年を経た昭和 63 年度に G1014si に更新され、さらに平成 23 年度に現行の PANDORA に更新されました。

更新に当たっては、全天周映像の充実、従来機より高性能かつコンパクトな光学式投影機、肉声解説への適性を重視し、最新の映像機器を導入しました。

また本体機種に合わせてデジタル式の附属投影機（バーチャリウム X、ステラドーム・プロ、ユニビュー）の導入に加え、ドーム径 10m のスクリーンの張り替え、壁クロスの張り替え、カーペット・座席（座席数 70）の更新を行い、室内環境の整備を図りました。

投影方法は、学芸員による肉声解説を基本とし、高齢者、幼児団体など利用者に応じた内容や語り口を実現しています。映像と機械動作は手動操作とプログラム制御を併用し、フルオート番組投影も可能となっています。

番組制作は天文担当の学芸員が行い、音響・映像制作には市民等の協力を得ています。このことは、各地のプラネタリウム番組がメーカー製になり、画一化が問題視される中で、現在も独自の視点と調査から番組を自作自演する希有な性格を有する施設となっています。



現在のプラネタリウム投影機 PANDORA

## 投影の形態

投影内容とその形態は、団体の利用者から特に希望の無い場合は、一般向け投影、学習投影、幼児向け投影の3つのパターンにより行っています。

### 1 一般向け投影

当館では、一般向け投影は土曜日、日曜日と学校が長期休業中の水・木曜日に行っています。投影内容は、日の入りに始まり、日の出で終わるオーソドックスな構成をとり、前半は当日の夜空を解説、後半はトピック的なものや季節感のあるテーマを設定して解説しています。一回の投影時間は約 50 分です。また、「星空散歩」などの特別投影も実施しています。

### 2 学習投影

理科学習のために観覧する団体を対象にした投影で、天文に関連する単元を学習する学年（小学校 4 年）に利用は集中しています。内容は、当日の星座と星の動きに関するものなどを中心としています。また、用意した内容以外に利用団体の希望があれば、できる限り応じることにしています。

### 3 幼児向け投影

幼稚園・保育園等の団体からの観覧希望の増加に応え、毎年投影期間を設けて実施しています。昭和 59 年度からは星空の解説部分を除き、プログラムによる投影を採用し、機種変更後もほぼ同様の投影形態をとっています。近年は幼児投影の需要は増加し、これに伴って教育効果等の調査に基づいた高度な番組制作技術が要求されるようになりました。投影時間は約 35 分です。

## 教育普及活動

### 《自由参加・申込制行事》

#### 1 体験学習

体験学習は、身近な自然の中の様々な素材を利用し、生活に活かしてきた人々の知恵を学ぶことを目的に実施しています。

#### 2 考古学入門講座

平成8年から開始した行事で、考古学の研究や調査の成果に関する様々な情報が発信されている中、考古学という研究分野の基礎知識を学ぶことによって、地域の歴史の再発見や歴史を正しく読み取ることにも主眼を置いています。また、地域の歴史を自らの手で探るための考古学入門講座を目指しています。

#### 3 平塚郷土史入門講座

平成23年度から始めた講座です。趣旨は、近世以降の平塚地域の歴史を中心に、郷土史の基本的な知識を知り、郷土史や自らが住む地域への関心を高めてもらう機会を提供するものです。講師は担当学芸員が勤め、当館の講堂が会場です。

#### 4 ろばたばなし

平成10年度から開始した行事で、1階常設展示室「相模の家」内で昔話の語り聞かせを行います。昔話を聞くことでイメージーションが広がり、また、古民家を活動の場にする事で、昔の暮らしの雰囲気を感じてもらうことを活動の狙いにしています。

実施日は毎月第3日曜日、13時30分からと15時から、それぞれ30分単位で行って来ました。語り手の公募はせず、経験を積んだ女性の方々が自主的に活動しています。語り手が古民家の囲炉裏端に座り、座敷に上がった来館者に向けて1話ずつ語ります。各回につき1話は、平塚の昔話や伝説を紹介するようにしています。聞き手は自由に参加することができました。平成29年7月以降は休止しています。

#### 5 石仏めぐり

一般市民を対象にした石造物の見学会で、平成18年度から毎年地区を変えて、秋に申込制で実施しています。コースの設定や石仏の解説、資料づくりは、当館のワーキンググループである石仏を調べる会の会員が行っています。建立の背景となる、地域の歴史や民俗を踏まえた石仏の解説を行っています。

#### 6 自然観察入門講座

小学校高学年から中学生を主な対象に、夏休みの自由研究のヒントになるような内容で実施している講座です。令和元年度に活動を終了しました。

#### 7 相模川流域ジオツアー

平成28年度から開始した行事です。相模川流域の地形や地層だけでなく、そこに根付いた文化や歴史についても含めて、野外で観察することを狙いとして実施しています。ワーキンググループ「地球科学野外ゼミ」で実施している野外観察会に比べて、より入門的な内容であるのが特徴です。

## 8 自然教室

身近な生きもの観察を行います。吉沢、土屋、湘南平、万田などの他、総合公園や平塚海岸で身近な自然を観察しています。

## 9 キノコの観察会

神奈川キノコの会の協力を得て、キノコの観察会を吉沢霧降の滝周辺で行っています。講師は神奈川キノコの会の会長が勤め、例年、午前に野外観察と採集を、午後は吉沢公民館で詳細な観察と勉強会を実施しました。

## 10 みんなで調べよう

一般市民がそれぞれに調査を行い、持ち寄る形で一つの調査を行っています。平成 27、29 年度は「ひらつか星空調査隊」として光害の度合いを調べました。平成 27～30 年度は「セミのぬけがら調べ」を平岡幼稚園との協働事業として行いました。令和元～3 年度は「平塚のカタツムリ」としてカタツムリ類の調査を行いました。

## 11 星を見る会

プラネタリウムはすぐれた星空シミュレーターですが、博物館活動の本旨は暮らしをとりまく自然への理解にあります。実際に頭上にある星空を観察する会として、この会を行っています。

会は当初、博物館前庭を会場としていましたが、昭和 57 年の文化センター公園整備後は、眺望の良い館屋上に移りました。月、星座、惑星、星雲、星団等をテーマに、四季の天体を望遠鏡で観望します。

参加者は夏期に集中しますが、教育的観点から季節や、対象天体が偏らぬよう努めています。しかし、当館が市街地に立地しているため、光害の影響を受けない月や惑星に偏らざるを得ない状況にあります。

## 12 天文学入門講座

平成 28 年度に立ち上げた連続形式の講座で、天文学の基礎的な事項を系統的に学ぶことを目的としています。毎年テーマを設定し、年間の実施回数はまちまちです。これまでに「太陽系と惑星」「恒星とその物理」「月の文化と科学」「小惑星とその探査」などのテーマを取り上げました。講師は担当学芸員が務め、当館の講堂が会場です。

## 13 最新天文学講座

平成 29 年度に立ち上げた単発の講座で、天文学の最新の成果を解説することを目的としています。年に 2～3 回実施し、重要と思われる天文学の研究成果の発表を受けて内容を決定しています。これまでに「重力波検出」「小惑星探査機はやぶさ」「ブラックホール」「火星探査」などのテーマを取り上げました。講師は担当学芸員が務め、当館の講堂が会場です。

## 14 平塚学講座／平塚学入門講座

平成 23 年度に立ち上げた講座で、当館が自然・人文部門を合わせた総合博物館であることから、分野ごとの縦割りではなく、総合的視野から地域を見て行き、市民自らが住む地域について、様々な視点で知り、考え、「地域」・「まち」に関心を抱いてもらうことによって、当館の利点を活かした「まちづくり」の基礎形成に寄与することを目的とした講座です。

この講座を基に、令和元年度夏期特別展「平塚学入門」として、76 のテーマから平塚を探求する展示を行いました。当館の全分野の講座を開催し、その修了認定者には修了証を交付するものです。令和 3 年度はコロナ禍のため屋外での実習などを省略した「平塚学入門」講座とし、修了証の発行も省略しました。

## 《会員制年間行事（ワーキンググループ）》

### 1 古代生活実験室

古代の人が使った道具や技術を再現・習得することによって、生活の技術や知恵を学ぶことを目的としています。近年では、教育機関から「縄文土器づくり」や「火起こし」などの体験指導の依頼が寄せられた際に、本会会員がボランティア参加し実施しています。

### 2 平塚の古代を学ぶ会

本会は「平塚市史 11 上・下 別編考古（1）・（2）」が平成 11 年・15 年に刊行されたことから、会員と共に「地域の考古学」を勉強し、情報を共有化して時代ごとの地域像を新たに構築することを目的として会を立ち上げたものです。発掘調査の現地見学や博物館の展示見学も行っています。平成 22 年からは「相模国庁」模型の製作を開始し、令和 3 年度に完成、博物館文化祭で発表した後、常設展示室に設置しました。

### 3 平塚の遺跡を歩く会／東国史跡踏査団

市内外の遺跡や史跡を巡り、地域の歴史の学習をしながら、人々が暮らした環境と遺跡・史跡の現況を体感する企画です。

### 4 古文書講読会

近世地方文書の解読を通して、古文書に親しみ、地域の歴史を身近なものにして自ら調べ学ぶことができる素地づくりを目的に実施しています。会は毎週金曜日の午前 10 時から午後 3 時に開催。新規会員の指導はベテラン会員が行っています。

### 5 平塚の空襲と戦災を記録する会

昭和 20 年 7 月 16 日の平塚空襲を中心に、戦争と市民生活の関わりについて正しく記録し、事実として後世に残すために、市民参加の調査活動の一つとして、平成元年度から実施しています。主な調査は、戦災記録の掘り起こしと聞き取り調査、空襲体験証言集『炎の証言』の作製等で、毎月 1 回土曜日の午後に実施しています。令和 2 年に『炎の証言』21 号を刊行しました。

### 6 裏打ちの会

館蔵資料の近世文書の保存と修復のための裏打ち作業を行う会です。作業は科学教室で毎月第 3 水曜日の午前 10 時から午後 3 時まで行っています。

### 7 地域史研究ゼミ

共通史料講読によるグループ研究（ゼミ方式）を通じて、史料の読解能力・解釈能力・史実構成能力を高め、地域において主体的に郷土史研究を行う力を養うことを目的とした会です。毎月 1 回、土曜日の午前 10 時から 12 時に開催しています。



## 8 石仏を調べる会

昭和 56 年度に発足した年間会員制の行事で、市域に残る石造物について市民が実際に調査する会です。参加者が市内に残る石造物を見て、その形状、歴史、信仰を学習するとともに、石造物の所在調査と、市内石造物の周知を行うことを目的としています。市域全体の調査は一通り終了し、その成果は平成 5 年度までに刊行された『平塚の石仏』全 16 冊にまとめられました。その後、再調査をし、平成 27 年に『平塚の石仏－改訂版』全 10 冊を刊行しました。現在は、一般の方向けに、市内各地区の石仏を巡るための地図を作成し、博物館ホームページで公開をしています。

## 9 民俗探訪会

平成 8 年度に発足した年間会員制の行事で、地域の伝統的な暮らしを見つめ直すことを目的に、野外に出て様々な民俗文化を観察しています。

平成 29 年度から令和元年度は、「相模の延喜式内社めぐり」をテーマに、平安時代の『延喜式神名帳』に登載された 13 社を探訪しました。毎月 1 回第 3 水曜日に定例会を行い、野外探訪も実施します。

## 10 お囃子研究会／祭りばやし研究会

祭囃子の研究と実践を目的に平成 19 年度に発足した会です。定例会は毎月 1 回土曜日の 16 時から 18 時 30 分に行い、令和 2 年度以降は 16 時 30 分から 18 時に行っています。前半は座学として、会員の調査発表や各地の囃子太鼓のビデオ紹介と解説、情報交換などをします。後半は実技として、市内の囃子太鼓各曲の練習を行います。文化祭などでの実演も行います。令和 3 年度から「祭りばやし研究会」に改称しました。

## 11 聞き書きの会

平成 26 年度に発足した会です。定例会は、毎月 1 回第 2 火曜日の午前 10 時から 12 時に特別研究室又は科学教室で行っています。市域に長く居住する高齢者に、それぞれの生い立ちや思い出を話していただき、地域におけるかつての暮らしの有様を記録に残すことを目的としています。次世代へ継承するために、聞き書きの内容を『聞き書き集 記憶をつないで』として、文集にまとめています。平成 27 年度に第 1 集、平成 28 年度に第 2 集、平成 29 年度に第 3 集、令和 3 年度に第 4 集を刊行しました。

## 12 生き物ズームプロジェクト

「野外で気軽にディープな観察を楽しむ」をテーマにした調査研究会として令和元年度より活動を始めました。会員の一つの場所で観察を続けたい、という意向により、月 1 回総合公園で観察を行っています。

### 13 相模川の生い立ちを探る会／地球科学野外ゼミ

相模川流域の大地の生い立ちを、野外観察を通して考えることを目的に開始した事業です。平成3年度から平成29年度までは相模川の生い立ちを探る会として活動し、平成30年度からは地球科学野外ゼミと名前を変えて活動を続けています。

大地の地形や地層・鉱物・岩石などを観察しながら、その生い立ちを考え、我々の生活とどのように関わっているのかも考えるよう努めています。年間会員制として毎月1回のペースで、野外観察会と室内勉強会を交互に実施しています。

### 14 平塚地質調査会

相模川の生い立ちを探る会の中から有志が集まり、年間テーマを決めて市民の手による調査活動を行うことを目的に、平成7年度から平成27年度まで実施した事業です。平成13年度から平成19年度は「丹沢層群を知る」をテーマとし、平成19年度秋以降は「付加地帯の地層を見る」をテーマに丹沢の縁辺地域にあたる大磯丘陵の大磯層及び鷹取山層、江ノ島～三浦半島について調査し収集したデータや資料の整理を行って平成27年度に活動を終了しました。

### 15 天体観察会

昭和58年度から実施している会です。年間会員を募集し、通年で様々な天体・天文現象の観察、天文学の勉強をする会です。館屋上での観察のほか、静岡県函南町にある月光天文台での宿泊観察も行っていました。環境庁の呼びかけで実施されている全国星空継続観察調査（スターウォッチングネットワーク）には、同調査事業開始当時から取り組んでいます。分科会として、「太陽分科会」、「流星分科会」、「天文学分科会」の活動も行っています。

### 16 星まつりを調べる会

平成18年度の秋期特別展「里に降りた星たち」の開催を想定して、平成16年度に会員を公募し開始した天文分野の会員制行事です。月見、月待ち、七夕、星祭、星曼荼羅、御札や御守など、天体に関わる風習や史蹟遺物等の地域における所在情報を収集し、その現状を調査してきました。実施日は毎月1回土曜日を原則とし、年3回程度を野外調査にあて、風習や石碑等を現地調査してきました。平成23年度の特別展「星々のみちびき～大雄山参道二十八宿灯」においても、拓本を展示物として成果を反映しました。平成28年度に活動を終了しました。

### 17 展示解説ボランティアの会

平成11年度に公募によって発足した会で、各種団体、個人を問わず常設展示や特別展示の解説を行っています。会では自主的に勉強会や個人での研究発表などの活動を行い、市民に親しまれるボランティアを目指しています。

## 《 催事 》

### 1 プラネタリウム演劇公演・コンサート

平成 15 年度から、プラネタリウムの星空を利用し、人と宇宙をテーマに演劇を行う「雑貨団」による公演と、プラネタリウム番組の音楽制作を手掛けてきた地元のユニット「アクアマリン」などのコンサートをプラネタリウムで実施しています。

### 2 博物館こどもフェスタ

博物館開館 30 周年を記念して平成 18 年度から始めた事業です。小中学生に博物館への関心を高めてもらうことを目的としています。ゴールデンウィークの時期に実施し、古代生活体験、昔の子ども遊び、水ロケットなどの体験メニューを数多く実施しています。各催し物には、博物館職員のほか、博物館ワーキンググループ会員など多数の協力を得て実施しています。令和 2 年度からコロナ禍で中止しています。

### 3 イブニングミュージアムウィーク

多くの市民に博物館を利用してもらう試みとして、夏期特別展及び秋期又は冬期の特別展の開催期間のうちの 1 週間、開館時間を 19 時まで延長し、より広い関心を集めるために夏期は夏を思わせるイベントを、秋期は特別展に関連したイベント等を開催していましたが、コロナ禍もあり令和 2 年度以降中止しています。

### 4 博物館文化祭

博物館で活動する会員制ワーキンググループなどが日頃の活動成果の発表を通じて相互の交流を深めるとともに、広く市民にその活動内容を紹介することを目的とした行事です。平成 12 年度から平成 22 年度まで「博物館まつり」の名称で実施してきましたが、平成 23 年度より「博物館文化祭－サークル活動展示・発表－」に改称しました。令和 2 年度はコロナ禍で中止となりましたが、令和 3 年度は規模を縮小したものの「第 21 回博物館文化祭－ワーキンググループ活動展示・報告会・実演－」を開催しました。

開催期間中は、特別展示室を会場とした展示会、講堂を会場に発表会、屋外や科学教室を利用した実演を実施しています。計画・運営については、各グループから選出された実行委員会が中心になって行っています。

## サークル活動

### 1 神奈川県植物誌調査会湘南ブロック

県内の植物相調査を行うことを目的とした会で、平塚では、湘南エリアの調査を分担している会員が、定期的に野外調査や資料の整理を行っています。各地区で採集された標本は整理し、博物館に寄贈しています。

### 2 神奈川キノコの会

キノコについての研究調査を行っている団体で、定期的に平塚市内の調査を行うとともに、収集された多数のキノコ類標本を博物館に寄贈しています。

### 3 湘南コケの会

コケについて勉強したいという声のもとになって生まれたサークルです。野外観察会や室内での勉強会を催しています。土沢地区を重点調査地区としてコケ類のリストの作成を行い、その成果を『自然と文化』にて発表、標本は整理し、博物館に寄贈いただきました。

平成26年11月に調査結果を基にした展示を行い、初心者向け観察ガイドを発行し、活動を終了しました。

## 学校・地域と博物館

児童・生徒、更に教員が学校教育との関連で博物館を利用する機会も多く、博物館の展示資料やその他の教育普及活動への関心も高まっています。

そうした傾向は、民具や戦災資料、地質のボーリングデータなどの博物館資料の学校等への貸出し、土器づくりや火起こし体験などの出前授業、中学生の学習の一環として職業体験の受入れ、高等学校等の職場訪問、教員の研修受入れ等顕著に表れています。

プラネタリウムでは、保育園・幼稚園・こども園や小学校を対象に幼児団体・学習投影を行っており、早い時期から「利用の手引」を教員、教育指導課、博物館の三者が協力して制作しています。社会科副読本の制作に当たっても、博物館資料の教材化を教員、教育研究所、博物館が協力して実施しています。

また、小学3年生の生活科「昔調べ」学習に伴う説明依頼や要望による児童・生徒の学習会や教員対象の研修会、地域の公民館などに学芸員を講師として派遣するケースも増加しています。

館側でも、博物館資料の利用、博物館活動への積極的な活用を目指し、学校や児童・生徒、地域の要望に応える必要があると考えています。令和2年度から始まった「GIGA スクール構想」にも、博物館の多様な資源を活用できないか研究しています。



## 調査・研究・収集活動

「相模川流域の自然と文化」というテーマに基づいて、考古・歴史・民俗・生物・地質・天文の6部門で、調査・研究・収集活動を展開しています。これらの活動は、博物館の展示活動・教育普及活動・出版活動の根幹を成すものです。各分野の調査研究や収集活動は、研究紀要である「自然と文化」、「資料シリーズ」、「収蔵資料目録」としてまとめられ、その成果に基づいて、特別展が開催され、ガイドブックなどの出版物が刊行されています。

こうした調査研究・収集活動は博物館学芸員のみが行うものではなく、「開かれた博物館」として市民と共に普及活動においても実施されています。「石仏を調べる会」「民俗探訪会」「平塚の古代を学ぶ会」「地域史研究ゼミ」「平塚の空襲と戦災を記録する会」「地球科学野外ゼミ」「天体観察会」などの年間会員制の行事や、不定期に行われる「みんなで調べよう」などの行事では、各分野、様々なテーマでこうした調査活動・収集活動が実施されています。

収集された館蔵資料は特別展示や常設展示室で公開されますが、それらの資料をデータベース化し、収蔵資料目録として逐次刊行していくとともにホームページを通じた公開に向けて進めていきたいと考えています。今後の課題としては、収蔵スペースの拡充をいかにして図るかにあります。

## 市史編さん

市史編さんの歴史は、昭和28年に教育委員会内に「平塚市郷土文化研究室」が置かれたことに始まります。翌29年には教育研究所の所管となり、以後「平塚市史」発刊のための、資料の収集・調査研究を行い、併せて「平塚市体育史年表」「平塚市風土記抄」「平塚市戦没者名鑑」「平塚市戦没者名鑑追録」「平塚市傷痕軍人名鑑」「平塚市公立小学校沿革集 その一」「平塚市公立小学校沿革集 その二」「平塚市公立中学校沿革集 その三」「平塚市略年表1963年版」「平塚市略年表1966年版」などの書籍の編集と発行を行ってきました。

昭和44年4月には、業務が教育研究所から教育委員会総務課庶務係に移管され、以後昭和46年4月には総務課市史編さん係、昭和48年4月には企画部市史編さん室、昭和55年10月には総務部市史編さん課と所管が変わりました。

昭和58年10月の機構改革に伴い教育委員会指導部博物館市史編さん係となり、平成5年4月には社会教育部博物館市史編さん係、平成10年4月には博物館市史編さん担当となり現在に至っています。

この間、様々な市史資料等の収集に努め、昭和57年4月に市制50周年を迎えたのを機に『平塚市史』第2巻「資料編 近世(1)」を公刊しました。刊行計画では全16冊を予定しています。

また、市史編さんの最も基本的かつ重要な作業である資料の収集・整理・保管にも力を入れています。

## 主な刊行物

### I 「平塚市史」

- 第 1 巻：資料編 古代・中世
- 第 2 巻：資料編 近世（1）
- 第 3 巻：資料編 近世（2）
- 第 4 巻：資料編 近世（3）
- 第 5 巻：資料編 近代（1）
- 第 6 巻：資料編 近代（2）
- 第 7 巻：資料編 近代（3）
- 第 8 巻：資料編 現代
- 第 9 巻：通史編 古代・中世・近世
- 第 10 巻：通史編 近代・現代
- 第 11 巻上：別編 考古（1）
- 第 11 巻下：別編 考古（2）
- 第 12 巻：別編 民俗
- 第 13 巻上：別編 寺社（1）

### II 「平塚市史民俗調査報告書」

- 1 神田・城島
- 2 豊田・岡崎
- 3 土屋・吉沢
- 4 金目・金田
- 5 旭
- 6 大野
- 7 平塚（旧市域）

### III 「新聞記事目録」

- 第 1 集（横浜貿易新報 明治 24 年～45 年）
- 第 2 集（横浜貿易新報 大正元年～5 年）
- 第 3 集（横浜貿易新報 大正 6 年～10 年）
- 第 4 集（横浜貿易新報 大正 11 年～15 年）
- 第 5 集（横浜貿易新報 昭和元年～6 年）
- 第 6 集（横浜貿易新報 昭和 7 年～9 年）
- 第 7 集（横浜貿易新報 昭和 10 年～12 年）
- 第 8 集（横浜貿易新報ほか 昭和 13 年～20 年）

### IV その他

平塚市史資料人物編「礎柱録」

「平塚市郷土誌事典」

「平塚市資料所在目録（土沢地区その 1）」

「平塚市資料所在目録（神田・大野・旧市内地区その 1）」

「平塚市資料所在目録（豊田・城島・金田・岡崎・金目地区その 1）」

「平塚市資料所在目録（土沢・旭地区）」

「平塚市資料所在目録第 4 集」

「平塚市資料所在目録第 6 集」

「平塚市資料所在目録第 7 集」

「平塚市史民俗調査報告『明治 38～39 年農具一覧并図解』」

「新聞記事目録（横浜毎日新聞ほか 明治 5 年～31 年）」

平塚市史資料叢書 1 「中郡金田村経済更正計画書」

平塚市史資料叢書 2 「湘南洋画会会誌」

平塚市史資料叢書 3 「平塚郷土略史」

平塚市史資料叢書 4 「中原街道抄」

平塚市史別編考古基礎資料集成 1 「平塚市内出土の古瓦」

平塚市史別編考古基礎資料集成 2 「平塚市内出土の緑釉陶器」

平塚市史別編考古基礎資料集成 3 「平塚市内出土の墨書・刻書土器」

平塚市史別編考古基礎資料集成 4 「平塚市内出土の古銭」

平塚市史別編考古基礎資料集成 5 「平塚市内出土の金属製品」

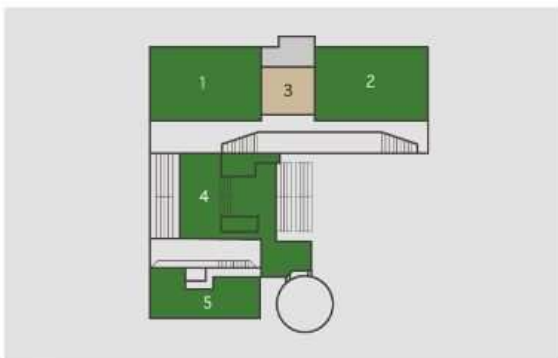
平塚市史別編寺院基礎資料集成 1 「寺院境内調査報告書」

## (6) 平塚市美術館



1階平面図

- 1 ミュージアムホール
- 2 情報コーナー
- 3 図書コーナー
- 4 エントランスホール・テーマホール
- 5 案内・ショップ
- 6,7 玄関
- 8 市民アートギャラリー
- 9 レストラン&カフェ ラパレット



2階平面図

- 1,2 展示室
- 3 ライトコート
- 4 彫刻広場
- 5 アトリエ・創作広場

## 基本構想

平塚市美術館は、湘南の中央に位置する生涯学習の拠点となる恒久的施設として、「湘南の美術・光」をメインテーマに掲げ、平成3年3月に開館しました。

湘南地域の文化の活性化のため、湘南地域にゆかりのある芸術家を顕彰し、人々が芸術作品や文化に接し新たな創造と生きがいを生む場となること、また過去から現代に受け継がれてきた優れた文化遺産を保存し後世に引き継ぐことを、目的として掲げました。

### 基本構想の継承と進化

令和3年度をもって30周年の節目を迎え、新たな10年へのスタートを切りました。この間メインテーマを基本としながら、二つの柱である展覧会、教育普及、及び作品保存事業を引き続き行ってきました。展覧会については幅広く湘南地域の個性的で多様な芸術文化を顕彰し紹介するため、湘南にゆかりのある作品や近現代美術の展示を行ってきました。

また、美術館の基本的な業務である作家作品の調査研究や作品の収集・保全を進め、令和3年度には開館30周年を期に、美術館ホームページ上で収蔵作品のデータベース公開も進めています。

さらに、展覧会や収集活動と共に美術館の柱でもある教育普及活動においては、市民のニーズに合わせてながら、美術に親しむ人の裾野を広げる努力を続け、市内の学校とも連携して対話による美術鑑賞事業を始めています。

運営面においては、デジタル化の流れに鑑み公式ツイッターやユーチューブでの動画配信など、時代に応じた体制を整えてきました。





## 展示活動

### 企画展・特集展

企画展は、展覧会のメインとなるもので、美術館独自のテーマによる自主企画展と、他の美術館との共同巡回展の二つに分けられます。夏休み期間には、親子や子どもを主な対象とした展示、秋季には芸術の秋にちなんで規模の大きい展覧会を開催するなど、時季を踏まえた企画も取り入れています。また、巡回展では単なる巡回の受入れにならないように、企画段階から携わることで独自性を出すように努めています。

平成30年度には「金魚絵師 深堀隆介 平成しんちう屋」を開催し大きな話題を呼び、歴代観覧者数一位を更新する66,372人を記録しました。さらに、テーマホールを活用したロビー展も引き続き開催しており、新型コロナウイルス感染症の影響により春季に臨時休館した後、例年開催している冬季に加えて夏季に「彫刻たちの饗宴」と題して所蔵作品による彫刻、工芸作品を展示しました。

平成25年度以降は、次の企画展・特集展を開催しました。(末尾の※は特集展)

#### 〈平成25年度〉

絹谷幸二展－希望のイメージ－ ※

水彩画 みづゑの魅力－明治から現代まで－

日本の絵 三瀬夏之介展 ※

はじめての美術 絵本原画の世界 2013 展

藤山貴司展－闇と光の交錯 その彷徨と回顧－ ※

友好都市提携記念特別展 伊豆市コレクションによる天才たちの若き日－横山大観から速水御舟まで－

所蔵名品展Ⅰ－美術館で遊ぼう！！－ ※

所蔵名品展Ⅱ－新収蔵品を中心に－ ※

#### 〈平成26年度〉

石田徹也展－ノート、夢のしるし－

袴田京太郎展－人と煙、その他－ ※

新収蔵品展 ※

ブラティスラヴァ 世界絵本原画展 絵本をめぐる世界の旅

現代日本画の巨匠 松尾敏男展 ※

横山大観の富士展

冬の所蔵品展－太陽と月と星をめぐる絵画 ※

春の所蔵品展 気になる！大好き！これなあに？赤ちゃんたちのセレクション ※

### 〈平成 27 年度〉

川口起美雄－絵画の錬金術師 ※  
京都市美術館名品展 美人画の 100 年  
ペコちゃん展  
生誕 100 年記念 写真家 濱谷浩展 ※  
画家の詩、詩人の絵 絵は詩のごとく、詩は絵のごとく  
新収蔵品展－特集：石田徹也の世界－ ※  
知られざる名品 サラリーマンコレクター わの会展 ※  
春の所蔵品展－物語る絵 ※

### 〈平成 28 年度〉

アーティスト in 湘南Ⅰ 萬鉄五郎×岸田劉生 その仲間たち ※  
北海道立近代美術館所蔵名品展 華麗なるガラス工芸の世界  
不思議なアート トリックトリック ハッ！とトリック  
アーティスト in 湘南Ⅱ 田澤茂と石井礼子 ※  
香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治展－シベリアシリーズ・原爆の図・地図  
アーティスト in 湘南Ⅲ 創画会ゆかりの画家たち ※  
冬の所蔵品展 私のくらしを彩る絵 ※  
東京都現代美術館コレクション 近代日本画名品展 ※

### 〈平成 29 年度〉

リアル(写実)のゆくえ－高橋由一、岸田劉生、そして現代につながるもの  
斎藤文夫コレクション 浮世絵・神奈川名所めぐり  
夏の所蔵品展 山の絵 ※  
ブラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本の 50 年 これまでとこれから  
神山明・濱田樹里展  
片岡球子－面構 神奈川県立近代美術館コレクションを中心に  
所蔵作品による“なんだろう”展＋新収蔵品展 ※

### 〈平成 30 年度〉

21 世紀の美術 タグチ・アートコレクション展  
アンディ・ウォーホルから奈良美智まで  
岡村桂三郎展－異郷へ  
金魚絵師 深堀隆介展 平成しんちう屋  
夏の所蔵品展 いきもの図鑑 ※  
秋の所蔵品展 Lines(ラインズ)線をめぐる表現 ※  
小倉遊亀展  
5 感＋1 つの感性 絵を見ておしゃべりしよう！※

### 〈令和元年度〉

荘司福・荘司貴和子展－院展の巨星・創画の新星  
空間に線を引く－彫刻とデッサン展  
所蔵品店 鳥海青児とその時代－半世紀ぶりの公開《瀬戸の山》※  
安野光雅展 絵本とデザインの仕事  
秋野不矩展  
秋の所蔵品展 異界への扉 ※  
冬の所蔵品展－パフォーマンスする絵画 ※

### 〈令和2年度〉

新型コロナウイルス感染症のまん延防止などのため予定していた企画展を中止・延期し、ロビー展（彫刻たちの饗宴）、所蔵作品による「日常という宝物展」「国際興業コレクション展」を開催

### 〈令和3年度〉

荒井寿一コレクション 川瀬巴水展  
柳原義達展  
The Gift 寄贈を受けた作品選＋新収蔵品展 ※  
studio COOCA のパップラパラダイス 2021－これがとってもとくいです  
物語る 遠藤彰子展  
湘南の日本画－院展、創画会の作家を中心に ※

## 教育普及活動

教育普及活動は、展覧会事業と並ぶ美術館活動の柱の一つであり、美術や美術館を通じて文化への理解や情操を深めることを目的としています。

とりわけワークショップは平塚市美術館の活動を特徴付けるものとして、開館以来その実績が評価されてきました。現在は、参加者の間口を広げ、より多くの方に利用してもらえるよう努めています。一般向けのプログラムのほか、乳幼児を対象とする「赤ちゃんアート」、中高生ボランティアによるワークショップなど、乳幼児から大人まで様々な年齢層を対象とするプログラムを実施しています。

また、近年は学校との連携事業としてスクールプログラムも充実させています。学校からの依頼に応じて、展示作品の鑑賞、ワークショップ、バックヤードツアーなどを組み合わせ、その都度プログラムを作っています。このほか、教員向け鑑賞・実技プログラムの実施、学校関連の研修の受入れなども行っています。

さらに、平成27年度より「対話による美術鑑賞」事業をスタートさせました。これは市民ボランティアとの協働で行う小学生向けの鑑賞プログラムで、美術に関する知識に頼らず、少人数のグループで対話しながら鑑賞する方法を用いています。市内の小学校に行き、アートカードなどの複製を使った出前授業と、美術館で実際の作品を鑑賞する来館授業とのセットで、児童の感性を育む内容となっています。

## 作品収集活動

美術作品の収集は、美術館活動の根幹となる重要な活動の一つです。作品の収集に当たっては、美術館の方針やテーマに沿って購入をすることが望ましいのですが、相当の費用が伴うため購入による収集はまれであり、近年では寄贈や寄託による収集が大きな割合を占めています。

収集にあっては、展覧会に附随する調査、作家や遺族からの申出など様々な契機の中で、作品の質や状態、すぐに展示できるかなどの視点で判断しています。収集した作品は、「新収蔵品展」などを通じてお披露目しています。

平成 25 年度以降は、主に次の作品を収集しました。

### 〈平成 25 年度〉

#### 【購入】

木下晋「休息」

#### 【寄贈】

大下藤次郎「夏」ほか、尾形月耕「江口の君」、絹谷幸二「あううん・祈り」、久野和洋「実(じつ)」、高良眞木「恵子十八才」ほか、斉藤典彦「かのみず」、平野杏子「善財南へ行く」、吹田文明「明日は雪」ほか、藤山貴司「連なりうさぎ・草の陰」ほか、堀井英男「窓」ほか、三橋兄弟治「新雪のアラゴン」ほか、三宅克己「鎌倉」、湯原和夫「作品 No.2-05」ほか

### 〈平成 26 年度〉

#### 【寄贈】

相澤豊治「春田」、入江観「浮雲」ほか、瓜南直子「夜の凶鑑」ほか、黒田古郷「鳩」、高良眞木「ひまわりの咲く風景」ほか、佐々木豊「薔薇爆弾」ほか、鳥海青児「雛図」、積山恭平「編む女」ほか、中川久「Q-12-8-A (それぞれの細部が全体を凌駕し始める時)」ほか、中澤直三郎「初冬」、野見山暁治「ながい一日」ほか、林辺正子「文節と綜合 SYNECDOCHE」、平野杏子「蘇生する善知識」、松尾敏男「裾野暮色」ほか、山本直彰「IKAROS-2011」

### 〈平成 27 年度〉

#### 【寄贈】

芥川麟太郎「樹 I」ほか、伊東深水「春の雪」、井上三綱「昼」、鎗木清方「小園夏趣」、川口起美雄「1951」、高良眞木「浜田糸衛像」、小林観爾「軍鶏」、菅野陽「自画像」ほか、難波田龍起「詩画集「蒼」、野口謙次郎「初夏之奥入瀬」、平野杏子「静寂」、平福百穂「水郷」、筆谷等観「初夏」、山下大五郎「田植え前」、山田耕雲「紅葉青佳」、四方田草炎「黄菊」、渡辺省亭「ときわ雪行の図」

### 〈平成 28 年度〉

#### 【寄贈】

大沢昌助「紫の座像」ほか、倉橋利明「Wibble wobble 2016-Irregular-scene1」、佐藤泰生「午後の女達」ほか、田澤茂「百鬼夜行」ほか、平澤重信「時の間」ほか、福田美蘭「見返り美人 鏡面群像図」ほか、藤山ハン「ポスト考」ほか、前田哲明「Untitled14-M10」ほか

### 〈平成 29 年度〉

#### 【寄贈】

大沢昌助「赤と線」ほか、瓜南直子「兎神国夜来図」ほか、神山明「誰かいるかい」、熊沢淑「2013・風一礎」、林敬二「貌の遠近法」ほか、本荘起「蓼科」ほか、三浦明範「鮭図」ほか

### 〈平成 30 年度〉

#### 【購入】

深堀隆介「桜升 命名 薄紅」

#### 【寄贈】

岡村桂三郎「団扇」、高田博厚「臥る女(femme arongee)」、鳥海青児「瀬戸の山」ほか、関主税「鳥」、中島千波「existence\*16-8-shin(真)」、長谷川さち「風の家」ほか、深堀隆介「緋奈々」、吉岡堅二「菖蒲」

### 〈令和元年度〉

#### 【寄贈】

泉谷淑夫「神話」ほか、大島哲以「薔薇のカノン」、大野廣子「アフリカの印象」ほか、鳥海青児「牡丹」

### 〈令和 2 年度〉

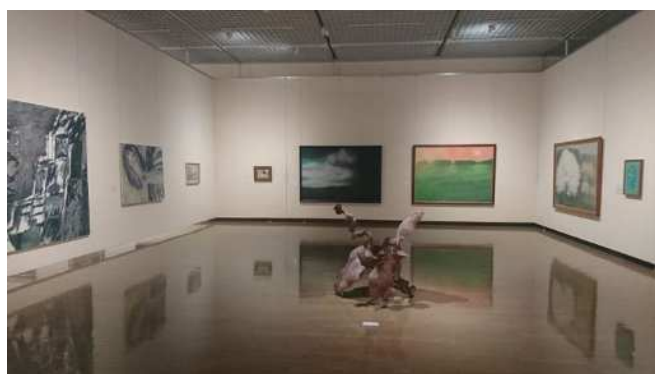
#### 【寄贈】

糸賀英恵「沈丁花」、木下晋「いきざま」ほか、加藤芳信「石版画集 行雲流水・点」、井上三綱「麦」ほか、野見山暁治「人のいない景色」ほか、鈴木竹柏「雪気」ほか

### 〈令和 3 年度〉

#### 【寄贈】

内田あぐり「わたしの前にいる、目を閉じている#09T」、遠藤彰子「岐路」、大沢昌助「夢みる少年」ほか、高良眞木「無題(絶筆)」、須永祥雍「風のせい」、松本節「無題」、毛利武士郎「鳩ノ巢 メキシコの遺跡より」



新収蔵作品展示風景（令和 3 年）



## 作品・資料保存、管理

美術館の基本的な活動として、作品を良好な環境で保存・整理し展示するために、作品資料の撮影や修復、額装のほか保存全般の業務があります。

収蔵された作品のうち、収蔵前の環境や経年劣化による損傷により保存修復を施さなければ展示することができない作品について、修復を行ってきました。

また野外彫刻についても定期的に保存処置を行い、良好な状態を保っています。

### 作品の貸出し

所蔵品の他館への貸出しについては、対象作品の状態が良好であること、展示との調整が可能であることのほか、出品される展示の企画意図に意義があるものと認められるなどの条件に基づき行っています。これは美術館相互の協力体制であり、当館が借用する場合も同様となります。年間の貸出件数は、平均して10件前後となっています。

### 所蔵品の記録

所蔵品情報は、その作品の基礎データとなるもので、デジタルデータベースを核として、データベースに対応した作品基本カードと作品基本写真を登録順に従って保管・管理しています。

また、令和3年度、開館30周年を契機として、全所蔵作品のデータをウェブ上で公開しました。

※画像は著作権の許可を取り次第、順次掲載

## その他の事業

平塚市美術館が地域の美術館としての役割を果たす上で、館主催の展覧会事業のほかに、他の機関や団体と連携した活動や、相互の支援が重要となります。

その一つとして、従来組織していた「平塚市美術館友の会」を先駆けとして、平成23年度から美術館事業をサポートする「湘南フレンズ倶楽部」が発足しました。

平成21年度からは、美術館を身近に感じてもらう取り組みとして、小・中学生を対象に年賀状を募集し、それらを展示する「こども年賀状展」を開催しています。本展は、展示作業・会場装飾・受付案内等を市民ボランティアとの協働で作上げる展覧会です。

その他、毎年テーマホールでミュージアムコンサートを開催するなど、美術館に親しみやすくする活動が喜ばれているところです。

## 美術館施設利用について

平成3年の開館以来、文化活動の発表の場として、一般団体へ市民アートギャラリーの貸出しを行ってきました。利用は抽選になるほど盛況で、年間60団体以上が利用し、美術創作発表の活性化に貢献しています。

また、美術館事業を中心に使用していた講堂を、平成12年度よりミュージアムホールと改め、一般への貸出しを行うようになりました。平塚市の数少ない小ホールのひとつとして、音楽発表会や講演会などの場に広く利用されています。

令和2年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一時休館を余儀なくされるなど館運営に大きな影響がありましたが、安心して来館いただけるよう新しい生活様式に則した館運営に心掛けています。

## 7 社会体育



【レモンガススタジアム平塚（平塚競技場）】

## (1) 社会体育

戦後間もない、昭和 25 年に平塚市におけるスポーツ普及、振興の先駆けとなる、平塚市体育協会（卓球・軟式野球・ソフトテニス・自転車・陸上競技・柔道の 6 種目協会）が設立されました。

昭和 31 年 10 月、第 10 回国民体育大会が県下を会場に開催され、平塚市ではバスケットボール、サッカー、ホッケー、自転車、ハンドボールが行われました。平塚市ではこの大会の開催に先立ち、昭和 28 年に「平塚市県民体育施策」と称し、現在の市民総合体育大会や市民体育レクリエーション大会（通称：地区レク）といった社会体育の振興を目的とする事業をスタートしたほか、昭和 30 年には平塚市の体育向上の将来を見据え、見附台体育館が建設されています。

昭和 37 年 4 月 1 日、スポーツ振興法に基づいて、平塚市にスポーツ振興審議会（現在のスポーツ推進審議会）が設置されました。さらに同年には、平塚市体育指導委員（現在のスポーツ推進委員）が任命され、平塚市体育振興協議会（現在の平塚市体育振興連絡協議会）も発足しました。

また、昭和 62 年には、市民スポーツの振興普及を図るため、平塚市スポーツ振興財団（現在の平塚市まちづくり財団）が設立されました。

平成 6 年、平塚市をホームタウンとしたプロサッカーチーム、ベルマーレ平塚（現在の湘南ベルマーレ）が誕生しました。

平成 10 年には、かながわ・ゆめ国体（第 53 回大会）が県下で一斉に開催され、平塚市においては、平塚競輪場で自転車、平塚総合体育館で卓球、桃浜町庭球場及び総合公園テニスコートでテニス、平塚球場で高校野球（硬式）がそれぞれ開催されました。

平成 14 年 4 月以降、新たなスポーツ施設として、馬入ふれあい公園内にサッカー場、ひらつかアリーナ、天然芝サッカー場が完成し、サッカーのまちひらつかの新たなスタートとなりました。一方、新たな体育館のオープンに伴い、49 年もの長期にわたり平塚市のスポーツ振興を支えてきた見附台体育館は閉館となりました。

平成 18 年、神奈川県内初のフルマラソン湘南国際マラソンが開催され、1 万人もの人たちがコースの一部になっている市内を駆け抜けました。

平成 22 年、高齢者から子どもまで誰もが気軽に楽しくプレーできるパークゴルフを推進するため、土沢地区の神奈川県企業庁平塚配水池の上部に湘南・県央地区初となる湘南ひらつかパークゴルフ場を開設しました。

令和 3 年、世界的規模で感染が拡大した新型コロナウイルスの影響でスポーツをはじめとする様々なイベントが中止となる中、1 年延期となった東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会が開催されました。平塚市はリトアニア共和国のホストタウンとして、同国選手団が滞在し、東京 2020 オリンピックへ送り出しました。また、大会開催に前後して市内小学校を始め市民との交流を図りました。



## ①スポーツ推進審議会

本審議会は、スポーツ振興法に基づき、昭和 37 年平塚市条例第 17 号によって設置された諮問機関です。平成 23 年にスポーツ基本法への改正を受け、スポーツ推進審議会に名称が変更されました。

委員定数 15 人以下、任期 2 年、体育振興に関わる諸施策について諮問に応じて意見を述べ、また自ら調査審議した事項を積極的に建議し、平塚市の体育普及発展に寄与しています。

主な諮問事項及び建議事項等	主な審議、調査事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>● スポーツ行政の重点施策について</li> <li>● スポーツ関連予算について</li> <li>● スポーツ関連事業について</li> <li>● スポーツ推進計画について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ事業及び予算について</li> <li>○市民総合体育大会の在り方について</li> <li>○新型コロナ禍におけるスポーツ行政の状況など</li> </ul>

※歴代委員については、152 頁以降に掲載しています。

## ②スポーツ推進委員

平成 23 年にスポーツ基本法へ改正され、名称が体育指導委員からスポーツ推進委員に変更されました。スポーツ推進委員は地域住民の要求に応じて、スポーツの実技指導、組織の育成及び住民の間に広くスポーツについての理解と関心を深め、スポーツ推進のための指導助言を行うとともに、市主催の行事、事業に関して協力をいただいています。また、毎年、スポーツ推進委員の資質向上のための研修を実施しています。平塚市の定員は 94 人に対し、令和 3 年現在 92 人（任期 2 年）のスポーツ推進委員が活動しています。

年度	研修会等
平成 25 年度	9 回実施
平成 26 年度	7 回実施
平成 27 年度	8 回実施
平成 28 年度	8 回実施
平成 29 年度	8 回実施
平成 30 年度	8 回実施
令和元年度	8 回実施
令和 2 年度	実施なし
令和 3 年度	5 回実施



スポーツ推進委員囲碁ボール研修会

### ③スポーツ・レクリエーション活動

#### スポーツ・レクリエーション活動の状況

市民が気軽にスポーツ・レクリエーションに参加できる機会を提供し、スポーツ・レクリエーションの実践を通して、健康の増進、体力の維持向上を図っています。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
地域スポーツ活動	各地区体育振興会が、地域に即応したスポーツ行事を開催								
女性バレーボール大会（チーム数）	181(17)	164(16)	平成 26 年度をもって終了						
女性テニス大会（チーム数）	32(16)	32(16)							
女性卓球大会（チーム数）	112(25)	110(22)							
女性バドミントン大会（チーム数）	82(41)	80(40)							

### ④競技会への参加

#### 市民総合体育大会

昭和 27 年に第 1 回市民総合体育大会が開催され、年々種目、参加者も増え、現在は 18 種目で約 4,000 人の参加があり、市民のスポーツの祭典として盛大に行われています。

また、平成 23 年度からは多くの市民にスポーツ活動の機会を提供するため、高齢者でも気軽に楽しむことができるニュースポーツ大会を市民総合体育大会として位置付け開催しました。

年度	回	種目数	優勝地区	得点	参加地区
平成 25 年度	62	18	花水	222.5	24
平成 26 年度	63	18	旭北	245.0	24
平成 27 年度	64	18	旭北	217.0	24
平成 28 年度	65	19	旭北	206.5	24
平成 29 年度	66	19	金目・旭北	232.0	24
平成 30 年度	67	19	旭北	238.5	24
令和元年度	68	19	花水	217.0	24
令和 2 年度	69	新型コロナウイルスの影響により中止			
令和 3 年度	70				

#### ニュースポーツ大会

(参加チーム数)

年度	トリムバレーボール	パークゴルフ	バウンドテニス
平成 25 年度	22	24	12
平成 26 年度	20	24	12
平成 27 年度	20	24	12
平成 28 年度	20	平成 28 年度から市民総合体育大会種目へ	13
平成 29 年度	21	—	17
平成 30 年度	20	—	12
令和元年度	20	—	10
令和 2 年度	新型コロナウイルスの影響により中止		令和元年度をもって終了
令和 3 年度			



## 地区対抗駅伝競走大会

昭和30年から始まり、新春の恒例行事となっています。

大会 (チーム数)	順位	優勝チーム選手名 (優勝総合時間)
第60回 (21)	①富士見 ②崇善 ③四之宮	榎愛梨・原田拓実・小野田翔太・山口博之・岩佐快斗・河野太助 (1' 51'13")
第61回 (23)	①崇善 ②富士見 ③岡崎	篠原万由子・篠原佑太・加納悠佑・久保勇介・中里竜也・加川 淳 (1' 48'37")
第62回 (23)	①崇善 ②富士見 ③旭北	加川果林・加納悠佑・酒井裕二郎・久保勇介・中里竜也・松下嵩志 (1' 48'08")
第63回 (24)	①崇善 ②旭北 ③花水	加川果林・酒井裕二郎・加納悠佑・中里泰士・中里竜也・久保勇介 (1' 47'16")
第64回 (23)	①中原 ②崇善 ③花水	齋藤和沙・黒崎祐司・河並 遼・溝口裕弥・伊澤 聡・川口純樹 (1' 46'54")
第65回 (24)	①崇善 ②旭南 ③富士見	片野みなみ・加納悠佑・加川開我・加藤泰斗・酒井裕二郎・磯 裕一 (1' 47'39")
第66回 (23)	①富士見 ②南原 ③中原	原田海羽・河野太助・藤川雅隆・佐藤一貴・岩佐快斗・小野田翔太 (1' 49'23")
第67回	新型コロナウイルスの影響により中止	
第68回		



## 市内実業団対抗駅伝競走大会

昭和36年から、職場体育の振興のため、市内の会社、事業所を対象として、駅伝競走大会を行っています。

大会 (チーム数)	順位	優勝チーム選手名 (優勝総合時間)
第53回 (13)	①平塚市役所 ②平塚市消防A ③日本クロージャー(株)A	重田真孝・仲川秀和・遠藤哲彦・平原渉太・横山貴臣 (1' 47'18")
第54回 (13)	①高砂香料 ②平塚市役所 ③平塚消防A	大野陽平・齋藤 誠・半澤隆貴・東 伸泰・水島直樹 (1' 47'58")
第55回 (13)	①平塚警察署 ②横浜ゴム(株)平塚 ③田中貴金属工業湘南工場	川口 活・高嶺朝巳・山下大志・羽生祥成・黒川次郎 (1' 45'47")
第56回 (15)	①横浜ゴム(株) ②平塚警察署 ③田中貴金属工業湘南工場	栗屋博文・加藤拓也・西尾和彦・森岡光夫・石田龍生 (1' 43'45")
第57回 (14)	①平塚市役所 ②平塚警察署 ③横浜ゴム(株)	平原渉太・村本洋介・佐藤裕貴・仲川秀和・石上 晃 (1' 45'31")
第58回 (11)	①横浜ゴム(株) ②平塚市役所 ③平塚警察署A	西尾和彦・加藤拓也・堤 俊行・石田龍生・森岡光夫 (1' 48'09")
第59回 (12)	①平塚消防A ②高砂香料 ③横浜ゴム(株)	福澤彩仁・村田寛太・山田 峻・吉野哲矢・桑原 了 (1' 47'48")
第60回	新型コロナウイルスの影響により中止	
第61回		



## 市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会

(コース：秦野市中央運動公園～県立相模湖公園)

年度(回)	順位・時間	選手名
H25(68)	積雪による路面凍結のため中止	
H26(69)	10位 2' 48'09"	南陽平・矢後大輔・佐野健人・平沢優果・鈴木悠介・伊澤聡・星雄太郎
H27(70)	6位 2' 45'55"	河並遼・岩佐快斗・佐野健人・平沢優果・岩原正樹・伊澤聡・横井翔吾
H28(71)	11位 2' 46'48"	安藤草太・岩佐快斗・斎藤俊輔・井上玲奈・黒崎祐司・伊澤聡・鈴木康太
H29(72)	12位 2' 47'23"	黒須涼介・伊澤聡・中野雄介・菅原優那・荒井光佑・黒崎祐司・佐藤裕貴
H30(73)	7位 2' 46'17"	中野蒼心・岩佐快斗・斎藤俊輔・菅原優那・中野雄介・伊澤聡・西田楓
R1(74)	8位 2' 45'00"	下倉佑斗・斎藤俊輔・南陽平・原田海羽・安藤草太・岩佐快斗・伊澤聡
R2(75)	新型コロナウイルスの影響により中止	
R3(76)		

## ⑤健全な青少年の育成

スポーツを通じて、青少年の健全な育成を図るために、次の事業を実施しています。

大会名		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
少年野球大会 (チーム数)	学童	398(28)	337(24)	329(24)	364(25)	311(22)	332(23)	323(24)	新型コロナウイルス の影響により 中止	286(22)
	ジュニア	277(19)	238(17)	187(14)	180(13)	166(13)	139(10)	163(11)		128(9)
	中学生	283(20)	243(18)	203(14)	185(14)	211(17)	192(14)	140(10)		177(10)
	参加人数	958(67)	818(59)	719(52)	729(52)	688(52)	663(47)	626(45)		591(41)
少年少女水泳大会		370	328	277	245	277	273	239	中止	中止
少年少女マラソン大会		295	318	254	292	278	228	中止		
少年少女剣道大会		209	215	191	212	211	197	101		



## ⑥学校体育施設開放事業

昭和 46 年 8 月、学校体育施設開放事業として中学校 8 校を指定し、一般社会人のスポーツの奨励に努めました。さらに、昭和 50 年 9 月 25 日、平塚市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則を制定し、より多くの学校施設開放を行い、市民の利用に供することに努めています。

### 開放校数（小学校 28 校／中学校 15 校）

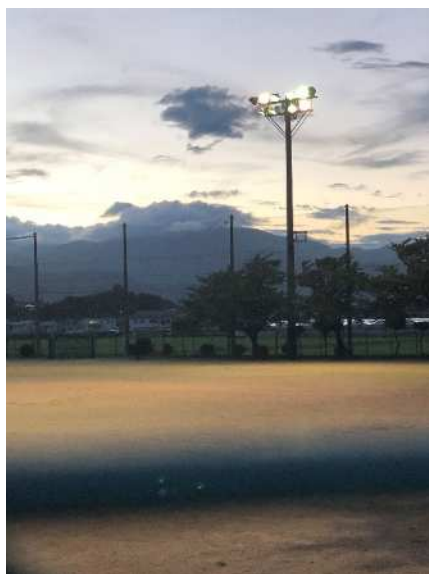
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
年間利用人数	431,402	419,342	436,628	434,912	416,671	389,453	348,257	157,528	234,350

### 夜間照明施設（年間利用人数）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
江陽中	4,630	4,640	4,706	3,432	4,149	3,951	2,568	2,183	1,411
太洋中	3,102	3,284	2,799	2,402	2,956	3,287	3,295	0	3,264
金目中	2,273	1,685	1,550	1,289	1,351	1,964	2,382	1,409	1,545
大住中	1,764	1,179	716	936	889	1,048	815	650	813
浜岳中	2,581	4,995	4,257	3,554	2,675	2,608	2,676	1,080	2,156
旭小	2,793	2,526	2,223	2,668	2,110	1,615	1,517	902	1,212
真土小	1,596	697	1,179	610	1,064	711	824	885	712
横内小	563	494	560	742	636	374	560	330	440
八幡小	1,116	1,676	1,971	972	1,262	1,933	843	1,029	742

### プール開放校数（小学校 28 校）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
利用人数	30,737	24,611	24,910	15,460	15,539	14,748	15,737	新型コロナウイルス	
開放日数	18	10	10	7	7	7	7	の影響により中止	



## ⑦公益財団法人 平塚市まちづくり財団

公益財団法人平塚市まちづくり財団は、平塚市の健全な発展と公共福祉の増進を図るため、市民の文化、スポーツの振興及び促進並びに公共施設の管理運営等を総合した事業を行い、平塚市民の健康増進と明るく豊かな潤いのある市民生活に寄与することを目的としています。

スポーツ事業課では、スポーツ教室の実施のほか、囲碁ボールの普及やスポーツ団体等に対する助成・援助等に取り組んでいます。

### スポーツ教室等の開催

市民が生涯にわたってスポーツ活動を楽しみながら健康増進を図り、いつまでも生き生きとした生活を送ることができるよう、スポーツ教室等を開催しました。

事業名	(教室数) (参加人数)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
フィットネス教室	4 1,255	4 1,221	4 1,175	4 1,176	4 1,090	4 1,058	3 780	4 645	3 599	
ゆっくりエアロビクス教室	4 708	4 674	4 700	4 664	4 678	4 655	3 474	2 171	3 231	
さわやかエアロビクス教室	4 405	4 409	4 437	4 426	4 400	4 393	4 379	2 87	3 131	
すっきり!エアロビクス教室	3 174	3 173	3 157	3 162	3 155	3 147	3 134	2 63	3 97	
親子エアロビクス教室	3 78	3 44	3 82	3 52	3 56	3 86	3 48	令和2年度から ピラティス教室に変更		
ピラティス教室								2 44	3 85	
いきいき若返り体操教室	4 240	4 246	4 273	4 284	4 302	4 338	4 329	2 73	3 124	
すっきり・のびのび体操教室	5 427	4 379	4 398	4 406	4 421	4 410	4 389	3 127	4 183	
火曜ストレッチ体操教室	4 466	4 461	4 464	4 475	4 483	4 470	4 471	3 113	4 182	
水曜ストレッチ体操教室	4 452	4 460	4 451	4 460	4 466	4 457	4 464	3 135	4 186	
木曜ストレッチ体操教室	1 32	1 31	1 23	1 25	1 25	1 30	平成30年度をもって終了			
金曜ストレッチ体操教室	4 471	4 461	4 444	4 449	4 465	4 442	4 481	3 124	4 186	



事業名	(教室数) (参加人数)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
ジュニアフラダンス教室	2 23	2 40	2 51	2 55	2 54	2 47	2 35	2 20	令和2年度 もつ終了	
楽しいフラダンス教室	4 316	4 313	4 278	4 287	4 296	4 296	4 286	2 76	3 111	
パワーヨガ教室	3 239	3 239	3 245	3 228	3 240	3 248	3 247	2 72	3 109	
ウィークエンドヨガ教室	4 359	4 305	4 313	4 308	4 318	4 305	4 291	3 125	3 127	
楽しくヨガ教室	3 224	3 222	3 222	3 238	3 238	3 240	3 253	2 83	3 128	
火曜太極拳教室		3 90	3 104	3 106	3 126	3 147	3 144	2 74	3 117	
水曜太極拳教室	3 244	3 229	3 207	3 204	3 234	3 217	3 107	2 75	3 122	
金曜太極拳教室	2 52	平成25年度途中からボディメイクエクササイズ教室に変更								
ボディメイクエクササイズ教室	4 118	3 164	3 185	3 211	平成29年度からボディメイクヨガ教室に変更					
ボディメイクヨガ教室					3 223	3 220	3 230	2 89	3 128	
ジュニア新体操教室	2 54	2 64	2 87	2 74	2 78	2 77	2 103	1 22	2 57	
金曜エクササイズ教室	4 178	4 199	4 212	4 228	4 202	4 162	令和元年度から からだ整えヨガ教室に変更			
からだ整えヨガ教室							3 169	2 67	3 109	
真向法体操教室	4 147	4 147	4 153	4 155	4 158	4 137	令和元年度から 体幹コンディショニング教室に変更			
体幹コンディショニング教室							3 137	2 83	3 126	
はつらつ水中体操教室	5 584	5 547	5 598	5 612	5 582	5 548	5 522	2 110	2 110	
水泳教室	3 69	2 48	2 40	2 47	2 47	2 45	2 45	1 11	1 14	
アクアビクス教室	5 237	5 189	5 164	5 207	5 224	5 231	5 231	2 53	3 76	

事業名	(教室数) (参加人数)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
		テニススクール	4 673	4 679	4 636	4 568	4 527	4 502	4 461	3 283
ノルディックウォーキング教室				3 58	3 74	3 58	3 67	3 75	2 37	3 63
ノルディックウォーキング中級教室	1 29	2 33	休止			3 44	3 10	3 34	2 27	2 21
卓球教室	4 419	4 403	4 394	4 389	4 399	4 402	4 369	3 147	4 206	
男性フットサル教室	3 92	2 54	2 51	2 40	2 46	2 50	2 49	1 19	2 33	
女性フットサル教室	1 14	2 31	2 34	2 26	2 38	2 43	2 28	1 12	1 16	
バドミントン教室	3 190	3 203	3 217	3 216	3 207	3 200	3 236	2 98	3 165	
リンパウォーキング教室	4 235	4 174	4 162	4 158	平成29年度から楽しくリズムウォーキング教室に変更					
楽しくリズムウォーキング教室						4 101	4 120	4 99	2 23	3 27
アンチエイジングリンパ体操教室				2 51	2 62	2 45	2 51	1 8	2 21	
脂肪燃焼教室						4 92	3 88	2 28	3 40	
始めてみようフラダンス教室	2 32	2 31	2 35	2 32	2 19	2 32	平成30年度をもって終了			
産後シェイプアップ体操教室	10 234	4 97	4 96	4 74	4 79	4 69	4 51	令和2年度からZUMBAをやってみよう教室に変更		
ZUMBAをやってみよう教室(水曜)								3 19	3 40	
ZUMBAをやってみよう教室(金曜)								3 26	令和2年度のみ実施	
火曜 UD ダンス教室							3 45	2 33	1 18	

事業名	(教室数) (参加人数)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3					
土曜 UD ダンス教室								3 61	2 39	1 22					
UD ダンス講師派遣事業								51 500	80 729	26 273					
ふれあいちびっ子相撲教室	1 32	1 24	1 30	1 32	1 27	1 33	1 30	新型コロナウイルスの影響により中止							
ペタンク教室	1 8	平成 25 年度をもって終了													
ランニング教室	1 11														
パークゴルフ教室	1 14														
ダンベル体操教室	1 20														
親子古武道教室					1 4	平成 28 年度のみ実施									
古武道体験教室・古武道健康教室					1 12	1 4	1 7	平成 29 年度をもって終了							
SUP 体験教室								2 26	2 23	令和元年度をもって終了					
オリエンテーリング体験教室								1 5	平成 30 年度のみ実施						
リフレッシュヨガ教室								4 81							
親子でダンス教室 「ブルルちゃんとおどろう！」					6 60	6 106	6 88	平成 29 年度をもって終了							
平塚市民囲碁ボール交流教室					1 54	1 54	令和元年度をもって終了								
サイクルスクール・ キッズサイクルスクール	1 16	4 109	4 110	4 87	1 18	1 22	平成 30 年度をもって終了								
HANDSIGN 手話ダンス教室							1 60	3 180	1 58	令和元年度をもって終了					
リズムHUMANBEATBOX 講師派遣事業							2 12	令和元年度のみ実施							
ヒラツカ×リトアニア 国境を越えた音楽とダンスの祭典								1 674	令和元年度のみ実施						

事業名	(教室数) (参加人数)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
ダンスと音楽でみんなを繋げよう								1 555	1 333	令和2年度 をもって終了
湘南バイシクルフェスにおける ウィーラーズスクール		1 154	1 59	1 90	1 95	1 100	1 100	平成30年度をもって終了		
ひらつか市民スポーツ フェスティバルにおける教室		19 2,280	26 7,253	36 9,388	19 4,069	34 8,318	36 11,999	新型コロナウイルス の影響により中止		
姿勢改善運動体験教室									1 6	令和2 年度のみ 実施
体幹・自重トレーニング体験教室									1 10	
運動不足解消健康体操体験教室									1 17	
火曜ピラティス体験教室									1 8	
水曜 ZUMBA 体験教室									1 15	
金曜 ZUMBA 体験教室									1 12	
金曜ピラティス体験教室									1 7	
合 計		146 12,005	145 16,505	163 18,836	149 13,564	164 17,759	173 21,538	181 10,302	170 4,478	126 4,610

## 囲碁ボールの普及

囲碁ボールの普及を図るため、囲碁ボール事業の実施や公民館等への講師派遣のほか、指導員認定講習会を実施しました。

事業名	(回数・件数) (参加人数)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
講師派遣			77	76	87	97	107	113	17	21
指導員認定講習会			1 57	4 67	3 35	1 13	2 54	新型コロナウイルス の影響により中止		2 38
公民館、福祉会館等での事業						184 4,814	171 4,568	176 4,584	69 1,142	132 2,223

## スポーツ団体等に対する助成・援助

市民相互のふれあいと地域の連帯意識を高めながらスポーツ活動を持続できるよう「スポーツ団体等に対する助成・援助」を行いました。

### 1 全国大会等出場者及び会場使用への支援

大会名	(件数) (金額)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
国際大会	5 100,000	14 280,000	17 340,000	11 220,000	13 260,000	14 340,000	19 380,000	0 0	11 220,000	
全国大会	23 230,000	41 490,000	33 365,000	46 575,000	37 400,000	46 505,000	43 480,000	17 140,000	26 250,000	
関東大会	11 115,000	1 5,000	8 62,500	8 52,500	3 45,000	5 45,000	1 5,000	1 10,000	1 5,000	
会場使用支援	5 34,500	6 45,950	6 65,150	4 49,050	5 75,600	7 106,200	7 105,075	2 39,000	2 27,900	
合 計	44 479,500	62 820,950	64 832,650	69 896,550	58 780,600	72 996,200	70 970,075	20 189,000	40 502,900	

### 2 優秀選手の表彰（小・中・高全国大会等出場者及び会場使用への支援

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
団体（件数）	3	3	2	2	3	6	1	0	0
個人（人数）	16	13	32	16	20	28	34	15	20

### 3 全国大会出場者への記念品贈呈（表彰を受けた者を除く）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
団体（件数）	0	1	0	1	0	1	0	0	0
個人（人数）	33	25	12	12	15	14	18	0	10



### 公民館との共催事業（高齢者学級における健康体操講座）

事業名	(教室数) (参加人数)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
四之宮公民館共催事業		1 45								
なでしこ公民館共催事業		1 13								
旭南公民館共催事業		1 36								
吉沢公民館共催事業		1 23								
合 計		4 117								

平成 25 年度をもって終了

### 講師派遣（くすの木体操）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
指導員養成講座（件数）	4	3	3	2	2	1	1	1	令和2年度
講習会（件数）	12	12	12	10	10	10	10	6	をもって終了

### スポーツ情報の収集及び提供とスポーツ振興に関する調査研究

情報誌「スポーツタウンひらつか」を発行しました。

（平成 25 年度～令和元年度は年 3 回、令和 2 年度～令和 3 年度は年 2 回発行）

